14

「東京六日登園通」ブラジルの移 に至ったがブラジル園市には軽く に至ったがブラジル園市には軽く

おいて勞働者が非常に不足なるに際してこれた補充し得ざる缺に際してこれた補充し得ざる缺れなる修正な為すこさに便宜を與へられるならば石の規定の歩のでの分叉は五分に引上ぐべき

私的

蘭會商開始

開會式は八日ご決定

表にロラン

〇〇〇は長期ならまし

世の中に新聞などのなかりせば

、蒙古における種羊の改良密及名の改良さ之が統一に関する件の改良されが統一に関する件

能で固めるつ

撤頭した政友會の結束論、政権

戦化粧品屋のボーズがあるんです「すぐは私駄目よ。だつて、二三

「はい、こさいます」

職品の不承認問語、相手

「今日晩御飯附き合はない?」 出て、×田の山崎を呼び出した

古人さ内鮮満人の感情
対導に置って作

戦の自由を束縛す。

官式は八日で決定したが

奉迎門の電飾

天皇陛下に

せられた秋父御名代宮殿下 並に勲章捧呈の御儀を終ら【新京七日發國通】御親書

日貨色彩除去期待

上開始されるに至って大表部間におけるお

、開會式當日は議事進行の手續

き次の如く決定した

立法院の

日支關稅改正案

當然の事だ

外務當局の談

努力な織けて來た折柄アラジル努力な織けて來たことは前途になは身の出て來たことは前途になは身の出て來たことは前途になばりの出て來たことは前途になば

する意見者を提出した事に隣しわて東京六日登画通別的電ブラジル

務當局は左の如く今後の成行

排日の急先鋒

八旗旗長會議

蛇

ミ博士死去

常突込んだ見解で

手でガツシュ

九千萬の手で手、

三千萬の手さ

兩國民の呼吸合致、

警足業光に難く。 警と業代に難く。

0

四、五分に引上よ

伯國移民案修正意見

送継定議会を通過した排日ミゲル 録であり且又今回遂にアラジル憲 の総先

影響章はどめ敷々の御動章

御正装 に御身を整へを せられ御班へに伺候せる張接件員 内所御差櫃しの自動車に御楽車、の御案内にて幸倉武官網階乗、京

宮く

(刊日

語出

をアに歌十五騎宝家康、窓、彩、 をアに歌山安楽部所献車艦天龍 かたつた旅順要楽部所献車艦天龍 のたった旅順要楽部所献車艦天龍

御警衛各艦

御親書、勳章棒呈御儀 御滯なく行はせらる 日滿國交の基礎愈固

遠の基礎を確立した、東洋平和のため洵に慶祝すべきであるせられて最初の且至高の歴史的盛典が御滯りなく運ばせられ、兩國の交誼は此に久皇帝陛下に對し御親書並に勳章捧呈の御儀を行はせられ、日滿兩帝國皇室に於か《新京特電七日發》 御名代秩父宮殿下には畏くも聖旨を奉戴あらせられ本日滿洲國

下の御窓旗の御り送な受けられての位置に復きせられ、脚壁下元の位置に復きせられ、脚壁下

能参座下を階下小廳接室に御案内が追席職員以下各職員及び大使館に

陛下着神遊ばされるや

は即機が強めて美は

軍紙に盛せの

んて

0

パの目を忍

六本縦に通つてゐるさ、そ留守を幸ひ、今日は、練い

專

競技、関係總理大臣以下各数談その他は、関係總理大臣以下各数談、公参専官以下大

時五分殿下の南郷は皇宮御彼御歸野五分殿下の南郷は皇宮御彼御歸

お風呂から出て、鬱黛の前に生

藍の色の繋がな仕立頭しに手な一本太綿がペットリ並んでゐる

並んでゐる、 た連

陸相、

總督

短げれば三四日、長くさも一惣兵衛の置手紙が減つてゐた。

してゐるん

深々でいた合んで、

お似合ですわ。

彼女は滿足して家た出た。

選の親みな象

衛官長等供奉の鑑賞を贈へ締ひ家衛官長、石鬼神鑑正覧、工懸命然で重覧、工規神鑑正覧、工験体のない。 工験体

原一入爽かに

御会談の後、声端の準備整つた階

御握手の後、変し

終らぜられた、陛下には殿下すゝめられ午後二時和氣器々

され

菊花大綬章を燦

ならびに大動企家花大穀歌の御贈 たらびに大動企家花大穀歌の御贈 下には秩父宮殿下御宿舎を観く御 聖上衛名代秩父宮殿下は荷瀬島帝陸 ・

御贈述の河心である。 本帝國皇帝陛下の河心である。 本帝國皇帝陛下の河心である。 本帝國皇帝陛下の河心である。 本帝國皇帝陛下の河心である。

の間になご

は屋町機式の河震製にて張中後まで た神器を順上げる、やがて止午殿 北京とり神器を乗上げる、やがて止午殿 は屋町機式の河震製にて張中後武 では屋町機式の河震製にて張中後武 である。

有する諸洲國海邊警察隊以來る七一港外着城定に当日七日登回河」然口に本部とれてまれ

御繁榮を読る語の御挨

海邊警察隊

警察廳と改稱

港外着の発

八日午後一時大連

御答慮こ、滿洲國皇室の御醫器を父宮殿下にも御杯を駆げさせられ

目、林首席随

御宿舍に

設等権々あったが一定せず四時甲 総会した

家事権は近日中に根當地域した数 報告後歌扇につき意見交換したが 報告後歌扇につき意見交換したが なが、まか

下原保各管職は極々指數を織けて下原保各管職は極々指數を観め、現在の機改、緊絡、艦政、特別の四種の外に出法程なり新設に織人されてゐるのが、一般行政に織人されてゐるのが、一般行政時期を強いると、現在の機改、緊急、艦政、

政友總務會

主高なる歴史的盛典 御名代宮殿下、 康德皇帝御對面

の住き日、無運圧上の宮廷の内 けさ勤民樓正殿にて

で等を聞くさせられ式場たる動式と 「で等を聞くさせられ式場たる動式と 「で等を聞くさせられ式場たる動式と 歴述 所動民郷 芝園 東寄せに御着、殿下 5れた、御園郷 江港 10 八十分河出門一路宮内府に随はせ 機管東等海沿車に 職 10 上午前九時 カ 大田 10 大田 よりさき動民標北側の便殿にお標正殿に入御あらせられた、こ

徳皇帝は包み切れぬ此の御慶びの ひ、御歌もいさ高らかに今回の重

| では、 潮した類は緊張にふ 御親書な受けるせ総へ

郷國務總理大臣、字怪美國務職等に御院食の髪を賜つた浦洲國師家に御院食の髪を賜つた浦洲國師

正午殿下を御正賞さして宮中に出野歌歌皇帝陛下におかせられては同歌歌皇帝陛下におかせられては同歌歌を選出された の御様子にて正殿を御退出、時正、御重低を惹なく果された御慶び 華やかな午

日滿交驩の歴史的情

を発動電等軍大 御使命に對する御禮さ、友邦日本 、ば、賺歡最常には難更さ無に能 かに 御趣立 秋交 宮殿下に 黙せら い、御郷重なる御日 調にて今回の 、は、賺飲最常には難更さ無に能 なった。

ボーズの方の用は思ったより早頭に、かなかは観座へ出た。遠くの方から吹いて来るやうな風が、 歩道の上に流れてぬた。

午後二時陸橋官邸で宇垣郷督さ

張数談所談長以下各数談その他日 ででき何宴が開かれた、宴中にして「本き何宴が開かれた、宴中にして「本き何宴が開かれた、宴中にして「本」といいましている。

ける會見

署監察院長、各琴議、各部高官並一岡村正副参謀長。 問、沈宮内所大臣以下各部大臣、「日本剛菱郊会權

懶真に

無量

政民政策協定

る仕來たりに

しかしその都度、かたか 出して、かたるは「ラ・フランス」 が疎々しい間柄さ知りな ランスの化粧品のこさたふさ思ひりになつてゐた。 最近撮影所の友達から聞いたフ

委員會

一時延期の政

流洲國藝作賞等を從へさせられ、 以下職員、愛城軍市会管兼大使、 以下職員、愛城軍市会管兼大使、 は下職員、愛城軍市会管兼大使、 午餐の 御宴な催させら

大臣は退出後、國務院總理室にお
動章探呈式に参列した鄭國務總理

總理恐懼謹話 兵政策協定委員の慙執會は十三日兵政策協定委員の慙執會は十三日 【東京七日發國通】

だ意見の交換を遂げ開會式の日程 ▲藍田臣直氏(| 長光硝子專務)七日入港香港丸にて歸連 录

本族に入る送には根常の日子を要するものさかられる、それまで剛代表間に要々私的会談を遂げ日 であるのさかられる、それまで剛がまる。 ▲柿內靖氏(新任日清生命滿洲支 二十一名は七時四十五分 大崎敬 **5氏** (關東廳醫官醫學博

▲東田周氏(満鐡・道部建設局工事課長)七日午前九時数はさて 北行



はい、無持はしなかつた。第一、 男のぬない生活の報じさが、一層早業 めに、 撃撃隊は彼女が、一層早業 のい、引き総つた確なしてゐた。 のドアを押して這人つた。 すぐ店員が立つて来た。

たので、何気なくかかるが目を上表い階段を除りて来る靴の音がも 如 小 南 小 南









太郎書

八日午後二時半大連

車簿自スエルア

目な、ちつさかなるの上へ据る中で足を留めて、大きく見扱つた の洋服の若紳士が、階段の途

た。惣兵衛はかなるが派手な装をかなるはお召の軍役を出させ

もの エスキモ

大連市紀伊町七五

さころ十一日に慶更された、即ち 選案は影響の如く十日職艦の第の 選案は影響の如く十日職艦の第の

二新義州二新義州

ツバメ商會と

今日の小洋相場(時中)

軍樂隊の演奏

一日に變更

南西の風(晴)時々 南西の風(晴)時々 本地温度 本地温度

大連 電八四三七番

屋問旗

中央国加后

滿洲日報(廣告部)電話三六九五墨

候間此段御通知申上候七日午前五時四十五分自宅に於て死去致父重瑠儀豫で病氣療養中之處藥石効無く

して附値大投賣致します 約六百點常盤町社會館の植木はいよく~拾日限りに

賣

何千枚デモ揃フ店

直に大江町分院に向った内地院還 名に離られて新京衛座病院より郷 名に離られて新京衛座病院より郷 がに大江町分院に向った内地院還

~ 天気予報

献饌、祝詞、御閉算

ひべしもやけ、切傷、腫物 火傷、痔疾等の良熱

一名來連

遷座祭式次

はけふ午後七 はけふ午後七

人と令息令嬢、3 靈柩車を靜々と曳進する葬列、

東鄉元帥國葬畵報

る葬列、4 見送る大群2 参列の喪主彪氏夫1 文武百官の参拜、

延少りかっため

した同國練智鵬響海號(二十四百一権離凌へ入港、帝國軍艦地歌を始処地称を乗せ去る一日威海衛を費中を帯天日日旗を艦岸に威風堂へ変勢のため中華民國海軍代表王懿上させ六日午後六時折から强風の変勢のため中華民國海軍代表王懿上させ六日午後六時折から强風の

5 参列の外國儀仗兵

日

感激に充ちて

首都

夜來の雨に爽な

新京神社に御參拜

奉拜者は感激の涙

砂を敷き詰めた参道より境内に進。務所長御誘察申上げ、殿下には自

なの残に明んだ なの通りで何れも感染の残において御来迎心を許された光

四渤海の

漁區に

邦船進出を計る

有望漁區に滿人獨占を排し

権なく満人の獨占に委れてゐた一種なく満人の獨占に委れて來れが從來邦人に漁業魚、鯛等を産し最近非常に有望

もので、その方法も修式かたものである

自鵬飛を射殺

鄭營長

またもお手柄

世三年振りで

^{軍艦}横濱入港

狂喜した支那居留民

を修し終つて拝殿に御夢入、井上

れ、井上神官は謹みて被

大、 れた、御下間事項は 一、最近、特に満洲 記憶後における管内の民心の傾向、殊に事變 一、管内の民心の傾向、殊に事變 一、管内の民心の傾向、殊に事變 一、管内の民心の傾向、殊に事變 一、管内居住の清朝皇族の近況 一、鮮人に對する駅況

東際に野する御理解ある御職心、電及び大場緊絡派長は宮殿下の職のであったと邦賊するが、変別長 七、山泉直縁の

長官局長ら恐懼威激 の悪低く垂れて、 の首都は早朝より 旅の御徒然に

後並びに紅白紋壁欄(白地には船 と変に於ける学話を以て壁もた織、なつた と変にがける学話を以て壁もた織、なつた 心碎く は記念スタンプ集、滅鍼よりは虎のというの三點、速信局より

宇垣總督暗殺

ものな建設したいご研究中ノルガー・スクエアにも比りな解談して、ロンドンの

心を交じつ・十一

師記念事業會さても

該博の御知識に對し

感激の姿を思させた

占品 日大商科二年小林哲夫(こ)よ院監督暗殺の解経で四日検察された 嫌疑者に新事實

の書面を送ってる

ででも使げたのでチマキを作つた所同人の交かで発展してあるこが 豊頃清子が端午節も近づいたの 「八)立判明、なんでも同日の 「八)立判明、なんでも同日の 「八)立列明、なんでも同日の 野鶴松へ一声が 音が高く呼

三人がかたく抱合 で ある人間らしき 早速我をおれて ◇志摩洋行 電話四三四六九

るさころ、何分二 乙女心に悲しくなりこれを職 殴られ通しなので大いに同情 殴られ通しなので大いに同情 いつそ死んでしまへこ投身を いつそ死んでしまへこ投身を いつそ死んでしまへことなります。

句・畵展覧と講演松根東洋城氏の

清華、景春

葉峰線に匪賊

苦力宿舍を掠奪

りの製作である東洋城

お安い値段で此の良品…

ナメラ名利判 (戦板兼用

カメラの御模様は

全社が犠牲的お値段で賣出されたもので現在内地定價の三分の一の驚く程お安いお値段で御座います。 と品、瀟洒而も頗るスマートに出來てゐてポケット用薄型カメラで御座の意く

保酒品裝軍軍東関

設立を研究 記念事業に 4部 々九日より 午後四時實業球場で 始まる 球戦

東鄉公園

 (\square)

四門な偏へ艦長高憲四門な偏へ艦長高憲四門な偏へ艦長高憲四門な偏へ艦長高憲 華會館に乗組将校連を招待する ちまから 軍艦の橋瀬港を訪れたのは二十三年振りださ言ふのたのは二十三年振りださ言ふのためは二十三年振りださ言ふのためは一十三名乗組んでかり、何と

「法曹閑話」

箕田講師告發

勇敢な監視に救はる い抱合心中 版を提出した、 (本語のありさして、 ・のありさして、 ・のありさして、 ・のありさして、 ・のありさして、 ・のありさして、 ・のまで、 ・のありさして、 ・のまで、 ・のなで、 論が出版法及び治維法に違反する 土の著書「法典院話」に戦むる所 上の著書「法典院話」に戦むる所 、表記載太郎博 河野安通志氏 その成行願る注目されてゐる

八の女性が

あすべたこまべて

品揃

デルコにはシーズンに相應

しい新しい生地が多數入荷

New Materials

北陵參拜謝絕 道路工事のため

【奉天特電七日發】北陵の道路補 管滿洲脈より一般に公布した 至る三日間一般参観者を謝絶 事のため來る十二日より十四

歡迎淨瑠璃會

五キロので勝ト

分間整備隊で突戦

思約四百圓のものな強が、更にの匪賊水襲と、長銃敷挺のほか

キロ最谷川組書が録舎に終二十名 七日午前滿鄉建設版人電によれば 界から珍重されてある、なほ同日 氏は經黙に揮毫しない人だけに斯 たのを機さして同好性計りが条宗吉兩師が満鮮巡遊の涂

お買上上絶好の機會…

テッサード四五レンズ・新コンパーシャツダー・舶来ケース付 大連定價金百五拾圓也

7719 7418 8172 8062 8513 8561 浪 速

7205

6544

價麥帽子 野球指定座席券付大賣出 特子 大連實業·滿俱大賣出

した麥帽子た御示し下さいますれば後接會々員章(指定座席券)を呈上致します厳正な抽籤を行ひました結果右の通り常籤致しました御宮籤の御方様は「番號た貼付 御常籤の御方様は六月廿五日迄に會食草を御受取り願ひます

生地もデルコ 仕立もデルコ DELCO 連鎖街

洋裝の夏の訪れに

致しましてい

(128)

営業部長、日活を投給作の三古

スラグダ・ひ奪を氣人のエリアツヤチらがなりあて満漫の卷一たツタ 。すで得見目おの初の 高漫色彩極 るれば言されに回歴を発名の し逃見おてご断た品達の代稀ためしせ倒驚たポルガをヒッリトーイデ いなすまいさな

黒眼が流れてしまひはせわかさ、かかいてばかり居られては、今に サラ 離れであれているいか、そつち、 サアサ、無駄口はあさにして、 る我野機を、ごうでトゥれたのの悲しみに沈んで 権を持ち

上がつて来る、苗質リの呼び撃… 娘の下から、是関な餘離な引いて り、と関な餘離な引いて

日達馬、青毗伊織の三人、別にきるのだらうさ、青木三左衛門、山たが、鱧やら何やら違入つてゐ まで擦いてまるつて、 式場なる 工場なる。別にきる。 0

お選様にしたさころで、充分これですから、二言さ否に申しません。 早速に経光波をもつて、この道 は、経光波をあるし、それに でから、二言さ否に申しません。 は、経光波をあるし、それに でから、二言さ否に申しません。

が特権用ラッキー・セヴンの美女 な特権用ラッキー・セヴンの美女 エム・ライタ、ワーナー・コミッ カー・フェック・タイムス社部者イ・ は、第日スタデオが開めこ なが、第日スタデオが開める。 なが、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが開める。 は、第日スタデオが、第日の美女 は、第日の美女 歐洲に紹介さる

この鏡櫃

日八月六年九和

でで家軍代に 関か改まつた式事のある場合には でで家軍代に 関か改まった式事のある場合には でで家軍代に 関いて この不知火道場の習慣さして、

しい人門者があつて、現代で

その鎧櫃が、滅出

滅法重いので、

山口塗馬に青紙供棚さいふ、名前だけは一人前の若い門弟が二人

器いて――これが光づ式場です。 遊場の正廊に亡き十方齋先生の飲 をかし、その前に遺愛の未創を をいて――これが光づ式場です。

かり準備が整つて、その本場の推演に立てるさいふ…

その夜、只今

若人に呼びかける 駄目だ」さ音をひれつてゐること 望です」さはいひながち來て見

松岡氏の 」・〇發磬「青年よ起て」 九日より映樂館で

を情子さしてこれに製修興味を加 を情子さしてこれに製修興味を加 を情子さしてこれに製修興味を加 を情子さしてこれに製修興味を加 め一般市民の間にも相管話題の種 るここではり、大連懸點ファン婦 るここではり、大連懸點ファン婦 本 しく活躍すること敷迦日、國民萬 、 常時日本打除には戦略上政震峻徹 、 常時日本打除には戦略上政震峻徹 が緩されて動るこの結論から、先 が緩されてゐるこの結論から、先 常時に際し会然警視成職を度外副の前に立つて会議に標間イズムな

のさころが、かう売げ上がつてぬ 背 こと年 なさつて なります。 権 敷 て、分別種。 際外突の檸羅塞を我が物選に報々」注視の飽きなつてゐる提げ堂々さわが立場を主張し、國書、した映画であるだけに避され世界注視の日支紛等問題を「常時に際も全然警案成

子母澤寬ご阪妻、

(日曜金)

場へ運が出すこさになりまして、一等段に土蔵にしまつてあります

「貴公、そつちゃず

空にから

ここによるこ多少は重なが 言入つてなるかも知

念のない

恋のないやうに、皆で氣を付けいだらうが、大切な晶にから、

幸校

H

ME

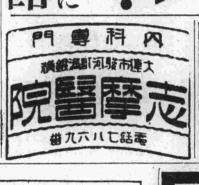
满

子、橋藤子、原作はサンデ 物語り、主演妻三郎、助描き出される股底映画、お

黴性の 展に前のな人き 蕊れが 憧めへ 雪に 山 !す動に確定は美ロラメカ

時前後篇同時上映 牛原 虚彦監督 大田市夏夏鈴 レコード吹込

帝國館 白日の下に リボンシトロンモンサイダ・



酒白龍正宗

性能を持つ

八日一日公開

村田實監督の大名篇

奇骨變骨

笛流

金井勝·衣笠淳子主演

五十鈴桂子主演阪東扇太郎主演

三二號

(二重ゼンマイ取付)

大獅子吼篇――

清年が起て

・カールト

五十五円

写門 穴状心毒

6節 花品章花環

大映畵

金美 軍二二〇六〇番

H

限り

お家庭にも

04 御散足にも タフルを

越忠赤穂浪士銘々 中野英治·森

作の一

篇

全國青年子女渴仰 0 辭子主演 開公別特り限日 一日八明

計

級

西

世界五十余ケ國を席置する 輸出數字が物語る

十十二五五四一一八十 十十二五五四一一八十 八四五二八四 七十十 一八四五二八四 七十十 錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢錢 返品返金自由 古帯道貝 9 品 塚 電話 7543 4379

東野村芳亭警・前篇 15世を男の想で復讐の火ん叶くと

進又 猛猪の如くにして併も猪突的ならず の効果その 信 用

社會式株藥賣本日

蚊軍を一擧に屠るその偉効を見よ

村田賞監督近来の力修「容流」を大阪親日、東京日日に連載し、知常順された處のもので、これが新常がメガネンをさり、常島順一郎の村まれたものである。 おいまして村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞として村田賞としていません。 は前記の知く定評があるからこれは別さして後者について見るさ一言にもて云へば實に何十本 書に接てるこさが出来たさも云 本文何年目にかで村田實の力作が生れたさも云へる。 流流を行った。 本で、文何年目にかで村田實の力作が生れたさも云へる。 が生れたさも云へる。 が生れたさも云へる。

+

香り高き文藝作品

村田監督

百

 (Ξ)

或に雪燥水を 番組 地 天法 (歳) ! 感快知るの 破壁 きないぐたに 肌山の 銀 自らる た 燃に 日 旭天 に

『大阪特電七日襲』七月中旬大連 事実において開催される輸入組合 事業において開催される輸入組合 事業において開催される輸入組合 事業において開催される輸入組合 で開催、熱心なる各業者の意見突 で開催、熱心なる各業者の意見突 で開催、熱心なる各業者の意見突 で開催、熱心なる各業者の意見突 ではれたが、本年の大阪側出 品店は六十六軒で昨年に軽べて二 十餘軽の減少さいふ珍理製を示し である、右に関し輸入組合大阪出 とここである。

長見本市を始め京都、神戸なご もう一つ聊か時機が連れ氣味で あるさいふこさも多少原因にな つてゐるだらう、出品内容は前 単世大差ないが蓄音機の著るし い進出さ反對に帽子屋さんが出 い地出さ反對に相子屋さんが出

商事會社設立に関する委員會は 本日で一段落ん告げた、この結 本日で一段落ん告げた、この結 型は近く正副總裁に報告するが 製立するか否か、設立するこす で、完定することだ、各生

人氣引立ず

竹産

況

鞍山鋼材會社

輸出商品展示會

東京六日登園通 光般来 丸ビルトあつた大同般新株式館はた然さん いあつた大同般新株式館はに飲べいあった大同般新株式館はに飲べい。

大同時

殖產會社

越株式店

七日創立總會

末も二仙八分三高を示し上海 東なも銀塊高クロス高につれ 標金も銀塊高クロス高につれ 標金も銀塊高クロス高につれ が票も五十五銭高の二圓四十五銭 は七十五銭高の二圓四十五銭 は七十五銭高の二圓四十五銭 において買方の利喰急ぎさな り結局前日より二十銭高の强 保合に止めた▲米國大統領の 保合に止めた▲米國大統領の 保合に止めた▲米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 保合に止めた本米國大統領の 日本の は第ろ海外銀塊の反落を見越 してゐるやうであつた してゐるやうであつた

開催準備進捗

七月二日から公會堂で

の通り事にな

なつたが、その議案を と日午前十時より丸/ 七日午前十時より丸/

会會堂において大規模に開催されるが、流洲艦の有力日滞輸入室者 人、大阪貿易調査所駐消機働及び 大阪貿易調査所駐消機働及び

型役の報告 ・定駄承認の件、 ・では、代表取締役

中銀東

京駐在員

株 内地市況に相響らず をして不透明な相場の連續で をして不透明な相場の連續で かり入けさ新東日重を首めそ の他の主力株も僅かに三、四 地にして右の様な始末である ので常市の不引立も常然のこ で地場株の質買も殆んご見 送られ僅かに昨今の人氣株土 送られ僅かに昨今の人氣株土 がよくく改變でもあって動 が相場であらう

服で先限に人級引立たす具送る 発替同事、電市は安値には貿級潜 在せるも質物簿さ現動の荷動き一 在せるも質物簿さ現動の荷動き一

四千三百五十六随増さ一

光硝子真務藤田臣直氏は七日

子專務談 藤田昌光硝一

滿洲見本市

四倉合を行び、さらに委員會内に配合を行び、さらに委員會内に

議は七月こなる模様である、右に をなので、本問題に闘する重役會

出品最後打合會

十題、歐洲間で一萬四千題で

増加を示し、殊に歐洲向

見粕は五萬二千二百十六題地、

一題地

おは十三萬二千四百四十四種、豆豆は十五萬二千二百四十三種、豆中の大連輸出特産物をみると、大中の大連輸出特産物をみると、大

ある(単位題)

る(単位題) 前支持を求めることさなる模様で 内地地繋が繋箔版を訪れるの機様 態にある、今各仕商地別に前年 新英、陽山、麝鳥、山口、朧鷳等

為替關係で

滿蒙輸組聯合會 創立委員會

滿鐵商事會社計畫

七日最後委員會開催

近く正副總裁に

製品賣行好轉

五月中輸出特産各品共增加



瀕死 復活の踊は未だし

の白銀

一に對しては一向に起死回春のと論議されたが「瀕死の自力と論議されたが「瀕死の自

の猛運動により、米大統領の 世界的銀質の上には一向 ンドン協定なるものた 奈陀等を中心さする銀生産関

く第二グループの國主緊密なは問題でなく英國、日本の如 は問題でなく英國、日本の如 二、支那、香港、エチオピアの

歐洲仕向大豆

語る語はて野連したが左の如く

製量では憂慮不要

た診断するに對して世界的に四 らうか、それは恐らくこの問題 根本治療が難事させられるであ に利目薄である。 一體何故に「瀕死の白銀」 落に依る一般物質の騰貴を以て のものは銀高よりも実み銀質低 のものは銀高よりも実み銀質低 事業の好況を誘致せんさするの 第一を同じく銀高に依つて

銀價吊上加見越して開始されて 米國の吊上策にしても、たさ

此四者は各自その利害を異にし 印度、西班牙の如く銀保有

の一)で申込金は一株五圓で饗表された、母に創立委員長は五十届 銀行營業繼續

行に及んでる、而して右申請書来 の対、既に申請受理のもの八十餘 の対、既に申請受理のもの八十餘 の対、既に申請受理のもの八十餘 の対、既に申請受理のもの八十餘

制限令修正斡旋方約束

銀塊及為基 銀塊及為基 倫教銀塊、元片(六分三 高、先物、元片(六分三 高、先物、元片(六分三 三貫銀塊、三質比(介) 三質は比(介) 三質は比(介) 三質は比(介) 三質比(介) 三質比(元) 三質化(元) 三位化(元) 三位化(元)

六日廣田外相を訪問

九月中輸入麥粉 日本粉が八割

中小商工業の **発**許

本年五月中における大連港の小郷 郷加振りを示してゐる、仕出地別 で前月に比すれば十二萬八千袋の

商狀は先づ一服の態

工業が受情に 強いで、東京特體 であって、東京特體 では、東京特體 では、東京特體 では、東京特體 野を発性線に なつたが、 除家を集めて中小郎、京郎、京の東の東のでは其 日韓一小曹高側の主

制研究

にするさいふ文けに注。
憲法で懸案の自由を認
憲法で懸案の自由を認 黄

0

海外銀塊高で

の事あらば撤回する主撃明したさ の事あらば撤回する主撃明したさ の事あらば撤回する主撃明したさ の入報ありし為め標金戻す

海標金

籡

钞

東京株式

● た見せず、紹成総・輸会会社会・五月中の歐洲輸出大豆がまなことをやり出したもんだ。 鈔票小聢り

能題を記上して、一般に激退の の約定に基くものか、す。 の約定に基くものか、す。 もこの分なら大した懸念の必要はなささうだ。 たに海外市況は論敦銀塊現物八分一高、孟賈四分三高、米英クロス二 他八分三高、米女五〇仙高、米日十二仙高、瀬申九七元九七五、 か 煙九七元四七五、米英クロス二 か 煙九七元四七五、大洋九六元九五 か 煙九七元四七五、大洋九六元九五 か 煙九七元四七五、大洋九六元九五 か 鷹市は四五十錢高に寄り引際呆り さなり結局二十錢高に由めた □ けき大豆は翼紅薄、 豆油は乗替商内多かつたが大豆油は乗替商内多かである。 豆安を眺めて弱保合を辿り▲豆柏 豆安を眺めて弱保合を示し高 繁も新規の買物に乏しく弱含 繁も新規の買物に乏しく弱含 繁も新規の買物に乏しく弱含 を呈した▲現物大豆は三井、 三菱、響年で一○○、油房の で百二十車の手合、油房の 取りが不溶液となったので市 場はダレ氣味。夏枯閑散期を たった。めでもあり、歐洲の 取りがでもあり、歐洲の をたた。めでもあり、歐洲の をたた。かでもあり、歐洲の をたた。かでもあり、歐洲の をたた。かでもあり、歐洲の をたた。かでもあり、歐洲の をたた。かでもあり、歐洲の をたた。とでは、またでは、また。 では、またでは、また。 では、またでは、また。 とて国る位だらうった。 北渡定期の前場寄に大株二十銭高十銭安、前は保合、東京短期の新東四十銭高、日産四十銭高を入れ、東四十銭高、日産四十銭高を入れ、東四十銭高、計算の前場寄に大株二十銭高・北渡定期の前場寄に大株二十銭高・北渡定期の前場寄に大株二十銭高・北渡定期の前場寄に大株二十銭高・北渡定期の前場寄に大株二十銭高・北渡定期の前場寄に大株二十銭高・北渡定期の前場の前場の前に大株二十銭高・北渡定期の前場の前に大株二十銭高・北渡定期の前場の前に大株二十銭高・北渡定期の前場の前に大株二十銭高・北渡に対している。

銘 柄 當 限 先 第 《單位十錢》

Q取·

〇五、化學工業三二七、郊外八 五、周水土地三七、土木一六八 一六七、搖順窯業一四〇 〇為替及受渡日歩 銀 香草枚 17/107/18/K回金 17/5/2枚 K/C/4 121回

100九元元 100九元元 700九元元 700九元六 中

^議松竹館

は亡き世界的偉人の面影を偲べ

青春の夢いまいづこ

田曜日はず 一日曜日はず 大百方傳・蓬初必子 大百方傳・蓬初必子 槍さび 懸慕 曜は豊富二回=

映画館内

大月 第1900 第1000 十1月 第1900 第1000 十1月 第1900 第1000 十1月 第1900 第1000 十1月 第1900 第1000

各品技体総さして不振を発れないとの関係が認識を開発を発さなつよって、必然的に需要的鑑さなつよって、必然的に需要的鑑さなつよって、必然的に需要的鑑さなつよって、必然的に需要的概念となったが、支那的特別を表れない 大連貿易公所 小規模に立案變更

職かして財下職僚方面に自示意見のであた大連市役所軽潔縣の大連が表に今職僚者の意向でな汲み入れ極めて小規模なものに一を汲み入れ極めて小規模なものに一を変か入れ極めて小規模なものに一を変が入れ極めて小規模な 近く關係者ご協議

ななす。 場を設け、これに必要なる設備をなす。 場が設け、これに必要なる設備をなす。 一二、同所は本公所の事務所を置く 一二、同所は本公所の事務所を置く 更な上出張所設置を希望す 見工出張所設置を希望す 見、見本向商品の倉庫を置く 五、満商側一輸入組合の出張所を

することになった、関に四日の出 に百七十九朝に達し執れも大阪 が一郎に百七十九朝に達し執れも大阪 が一郎氏は本月下旬来滿新京で 一流の億用ある養名店を完全に終 ・総監尉さ行務上の抗合せを行ひ ・機である、出品々皆は次の如じ が一郎氏は本月下旬来滿新京で ・機監尉さ行務上の抗合せを行ひ ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機監尉さ行務上の抗合せを行び ・機工、事務用品類二十 の事態を調査するさ骨ほ氏は就低 なっちいた。

比島、中米を繋ぐ 定期航路を開始

メキシコ側諸港に舎港せしめるた 日本郵船が中米航路へ飛躍

ある、中米融画さしてはサルヴァ 五月綿糸生産高して月一頭の定無総合さなで等で 五月綿糸生産高して月一頭の定無総合さなで等で 五月綿糸生産高

排日貨終熄して

本な復活するに決し、第一総さし 本と演事要以來中止してゐた職麼紙 と演事要以來中止してゐた職麼紙 を必能活力るに終う を必能活力るに終う を必能活力るに終う を必能活力るに終う を必能活力るに終う を必能活力を決し、第一総さし を必能活力を決し、第一総さし 九日雲陽丸上

重慶航路復

定期唯合高(共 日)

内地變らず 保合開散

◆定期前場(單位经) 等付高值 安值 大引 等付高值 安值 大引 明近1111章 11120 11140 11140 山來高 期近四百四萬圓 ◆現物前場(單位经) 銀對金銀對洋金對洋 九時 11110 1202 11210 十時 11110 1202 11210

洋服類舊裝



大谷日出夫入社第一 ○六日より公開 料階金下 影一回主演

日本チオブリン主演

中 典

青春の夢いまいづこ 田中組代の 田中組代の 悪いまいづこ

度上茶五郎で坂東橋之助の 尾上茶五郎で坂東橋之助の 尾上茶五郎で坂東橋之助の

本日の番組 母を戀はずい

麻袋强保合

糸昻騰

日活館

哈爾班

村金 階下 七五 十 錢級

野木銀 (現物 10%、40 野金票(現物 10%、40 野金票(現物 10%、40

太陽前後篇

銀嶺征服シャックと豆の木が製の極彩色漫畵

がの 太陽前 アンメイ・夏川 静江共演



● 京 現物

金野 現物

天

國幣(先物 為)THO 幣野命(現物「ス、そこ

查出 10天元

奉 天歌 **(奉 天**

天

月形龍之助主演河 部 五 郎主演

常 階下席●五十錢 盤 座

國

帥元鄉東

駐伯ア大使 南七千銭さ減少を示してゐる かさ見てゐる、なほ骸市径原総は

£

阪株式

電気威愛」朝鮮取引所では來る二 十五日九年上期の定時株主總会を 開くが今期は役貨交都低無満了で 開くが今期は役貨交都低無満了で 鮮取株主總會 目すべきものがあらうご 第二回第二回

| **大阪棉花** | **大阪棉花** | **大阪棉花** |

六日より封切●明朗と斷腸の好番組

透 味興な様の火!慄戦な様の氷 |罪犯の男るえ見撃發全社ユ 映央中 畵

つて腹下には再び引令官の御案内に可て後食職者に対成り難ばされ場

司令官に軍術練器を賜

大使館 事務所に御着、

英と米

英、米の間に何かの事前腺繁が行 はこれを否定し「米國は全く衛立。 はこれを否定し「米國は全く衛立。 はこれを否定し「米國は全く衛立。 を表すして交換に臨む繁

出し拔き不可能

官選では右風一説を正式に否定

には大使館及の機械車館真並に取しいたける将軍事備金属を控へてこれより先き同大使館や開前職場 『ワシントン六日登画通』ロンド

日

非公式、豫備會商

御名代宮殿下新京御着

寫真上は自動車にて御版館大使官邸に入

下は輝頭君ケ代吹奏の軍樂隊)

公式の前の前哨戰開始さる

否定する本國政府

ヘルギー

は中央通から平安町た関東京神社御参拝後、御名代宮

ちざらる、軍賊御報告終るや軍司 されば殿下には一部一句神鑑勝あたいが殿下には一部一句神鑑勝あた。 いれば殿下には一部一句神鑑動

工作に大なる機能を傾けつ、 動を奏し、引鞭き治安維持さ 動を奏し、引鞭き治安維持さ

場たる際庭に御導き申上げる、や

殿下を御家内外立無職

使命最も重大なる

日を過させ給ふ

日本官衙台臨を仰か

御滯京の秩父國賓宮殿下

世給うた では長い極みであるが、この日新京 神社の参照後は野に脱東東記念部、駐済海軍部、大使船 神社の の最も 重要 なる一日を 過ごさ 世給うた

府 行 發

也都一冊町圍公東市連大 社報日洲滿餘

「比較の責任者ことで静一合は總総職の意志大官以下の遺職事實が明 のみならず皆相は大管以下の遺職事實が明 のみならず皆相は別の意味事情が明

政局織

動免れがたし

しは出來まい

他の静低の場 を探索するは避け続いてあらう考へられない ものと舞られ結局疎局に一大寒脈

政友結束論擡頭

版相は驚厥内閣の責

弓

揚げ準備

公日高統蔵様一が疑欺事性に引責の意ある旨言明 首相遂に挂冠を觀念

を整造家を承認した、右大理監案 月二十七日ル大統領の裁可を軽た リンソン大理艦窓中影破の二十四 を変換音を表した。右大理監案

る鉱園物建地大臣の奉巡の針(要)

奉迎の

裁許容

全國各地一流の金物、

之がため代表部は過般來各地より

窓の規定を軽に寛大ならしめんと は五月三十一日下院通過1段下上院 て電域中であるが職員中には波波 け

廿四隻建造承認

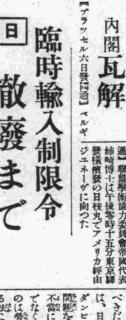
スワンソン海軍長官

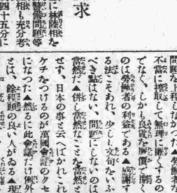
B 欧正又には歌歌を野する我が代表部の概本 を我が代表部の概本 の歌歌会 が出に個々の歌歌会 が表記の概本 廢まで

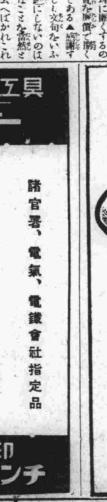
に就て意見を開陳、陸相も充分考さは、除程頭の良い人がある本理でする旨を述べ會談約四十五分に 行支那の蟹で際に捉されたが、食見後陸樹 で変する旨を述べ會談約四十五分に 大声短線質は朝鮮整備問題に就 行政院で吹止衆た恨り、立法院でて希望を陳べられたがこれは私 行政院で吹止衆た恨り、立法院で不希望を陳べられたがこれは私 行政院で吹止衆た恨り、立法院でする事であるし直ぐには疾身 に就な政策は自分の損、人を鬼へるた。然も師則増加には經費を は穴二つ、ブラジルも、職能に提はれた不 は然な政策は自分の損、人を鬼へるた。然も師則増加には經費を は穴二つ、ブラジルも、職能と義っても でった。 とは満洲の問題と併せ さ考ふべし。 ケチなつけ 臨時輸入

日本代表强硬要求 日午後二時十五分高郎に林陵根とに就て意見を朦朧、陰根も充分者に就て意見を朦朧、陵根も充分者になる旨を述べ會談約四十五分にという。

さは、餘程頭の良い人がゐる

















マラル大

米大陸の大旱魃

れるのではないかご観らる

は少々の降雨では到底緩和されされなりない。 ン六日發國通』アメ 局は最近の狀態に関し、

かは知らわが、先方では幾分氣の な者の一人カルネイロ氏、ごうし 成者の一人カルネイロ氏、ごうし て、優生學上から排日を主張す

ため六日巡に機能職を決行した、 一部改造で機に断慮を発に

くなつても、尚左様な頭面思いのだから相當時代後れだ▲此よ

奉迎の静を逃へ、松を

乗の御召自鯱車にて午後四時五十 方画観般下には河出迎へ申上げた に成らせられたが、此のダ御際職

杯を擧げて 御答辭を賜ふ

百

林本部記記して ほっこころうせ給ひ、 ち申上げる、殿下には戦時の後郷でつき起立のま、殿下な御徒でのき、殿下な御徒を 秋交宮殿下九日の側行事左の御線定にあらせらる

日御行事

關東軍司令部發表

盛大に開催された、町

奉洒晩を含は七日午後五時より新郷國務總理大臣主催の秩父宮殿下

迎晚餐會 べ新京 ヤマトホテル

にして君ケ代の奏樂かり、鄭徽理 「一天晴れて風なく新京藤屋上及びれつ、御奢席、職宴したが宴中ば 一天晴れて風なく新京藤屋上及びはされ鑑賞の最歌歌を受けさせら 禅に御贈還遊ばされたが、この夜線理の御先導にて大食堂に合慰遊 に午後七時、御少憩の後龍虹家送

御先導にて御選席遊ぼされた、時一直に選下した。 は長くも御答離を購り御乾杯あ 様り吹えた、同七時十分御鈴饗、には長くも御答離を購り御乾杯あ 様り吹えた、同七時十分御鈴饗、には長くも御答離を購り御乾杯あ 様り吹えた、同七時十分御鈴饗、には長くも御答離を購り御乾杯あ 様り吹えた、同七時十分御鈴饗、には長くも御答離を購り御乾杯あ 日本橋通の奉派門等には書を貼く 中央の奉巡塔、中央通

米上院の反對策動 を ならのありささへ噂され前途が で、からざる情勢にあるが跳からさる情勢にあるが跳かの結果。



一些総所は長以下影小院四名を以下 一些総所は長以下影小院四名を以下 一些能所は長以下影小院四名を以下 一些能力のできれる一部でごに 一部の時報を開い、空内の入口内部なごに 一部にある者は内側の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い、外来者の勝い。

皮屑消毒劑、像防被服等の防毒消

ちの、なほがス用準能所又は一時 お選能所に整確せらむべき者に繁 なほがス用準能所又は一時

の機行品を消毒する。

神な明にすべん

大豆(操物 一二七つ 出來高 七萬枚 出來高 七萬枚 出來高 七萬枚 出來高 七萬枚 出來高 七萬枚

紅

夏物變白生地豐富着荷

別染は専門

の大

最新式

優秀品

(ラデオ兼用)

8 球組込 ¥ 285。00マア

0

各球式有り

¥ 190,00 ss y

4 球組込

禁する 繁子る 禁する

方面のここかが するため立番

資材などな速かに調整管理配給す ることは種々の困難な伸ふだけに

對して宗教の話した爲了事、

避難所管理

康馬牧客人員、電戦所の廣焼なご業、電源所の位置、交通の難易、

日蘭通商の關係は遠く三百年以

徳川氏の鎖國時代から特別

宇

垣氏

理論ばかりで

日本商人を排斥せんさす

て高標職権だけ常職と後任を補充大廠を疑獄か此の程度で濟むなら 現で際の展掘わりは不可能である

若し此の問題の責任を取 さ考へてゐるやうだが

る魔がある、仍で考へついたのがらいこさになるさ大變なこさにな 本

に於いて一億風の趣儀評可を徐富 過去一箇年間に一億六千萬風の起 に於いて一億風の趣儀評可を徐富 をなず社会は昨年六月の株主總督流籔の資金計畫中の主要なる部分 全力で合して次のごでく

◆人間が一つの社会を作つて居る 以上共存共業でなくてはなら2 自分類りさへよければ他は何う でも可い探さ思ふのは記書道説 である、靴らっ。 柴田 博 陽 建築と騒音

ってゐるから恐らく噂に止ってゐるから恐らく噂に止ってゐるから恐らく噂に止ってゐるこい にまれば似に止めてゐるこい 株主總會に於て得て置く必要に迫めには相當額の發行力を來るべき 社債を募集するた

一千萬圓が至二億圓を製し根密の餘 大年度の新線建設計畫および社内 大年度の新線建設計畫および社内 大年度の新線建設計畫および社内 では、近日では、昭和 大年度の新線建設計畫および社内 では、1000年 では、1000年 では、1000年 では、1000年 1000年 10

は置いて居らり様だ。 ・ 本に倒宅地に独々概要勝まる歴 ・ 書心機勝、多年勢音の結果。 ・ 書心機勝、多年勢音の結果。 ・ 書心機勝、多年勢音の結果。 ・ 書心機勝、多年勢音の結果。 ・ まいは、まっさ ・ で息吐いたさ思ふ間もなく、 ・ で息吐いたさ思ふ間もなく、 ・ で息吐いたさ思ふ間もなく、

◆それから市甲における昨今の臓 になら是も巴むを得ない事さ をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をでる。 をである。 をでる。 をでる。

◇自分の利益

称は覚しくない、

一つの社會

思ふら見て

まる俗語や、浪花節の放送振り

限には食料の大変

(防火防衛係)

期

期

等物の多くは自己主義で、市街等物の多くは自己主義で、市街で

反野であるが住宅地は住宅地で とな作る事を許さねさいつてある、製は、これでは代表事を許されば住宅地に断 とな作る事を許さればは宅地に断 は、大な階級前思想には

現象であると思うて喜びに堪へてゐる、市の繁榮上から言つて

るのが間違つて居る、

地にアバ

トなごを作

◆昨今市中に盛んに建築が行はれ

美徳であるさ思ふ。

築しお隣りの邸宅を無茶苦茶に

震速町や西

の騒ぎの最中を揮んで出て来なくがあることも分つてはゐるが、こ

毒瓦斯に備

へる

避難所と其設備

避難者の注意事項

**び記上は密然であり、
朝鮮の用向**。

新社債一 發行力保留認可申請 一億圓 一門のために取返しのつかねことは、西園寺公も伯のことなどはない、西園寺公も伯のことなどはない大き人では大であるから問題になられるだ人であるから問題になられるだ人であるから問題になられて、一門のために取返しのつかねことでき人ではない一家というにもなりにあるから問題になられている。

一議案總會提出 北支の視察をすべた海に入る何

運賃値下げ

取爨め一括有蓋単に穫畝して運送」の長さ、容積等が特に大なるもの従来溶緻の小口扱貨物は幾口分も一するのが建前であるが、貨物一個 濶大貨物に對して

び候(二日上海にて)

の收穫で認識を得たることを喜った意見の交換を行び像想以上

散

後場市況全

諸氏の發起で開催さ

保合開

言みを呈し、高限合、豆油は現 含

大人多期

期 用紙差替自在・概穴の切れない

300頁一册¥2.30 送料¥0.33 内鮮滿臺有名文具紙店及デバートに有 發賣元 大阪市東區平野町二丁目 株式會社 福 井 商 店

あの年で、 あの元氣 機構·音質·分離受信· ナ ル 程 体裁·萬點 b

部内は利

灰

港院

00

所張凹天奉 地凿五町茂加天奉 番七四四五話型

¥36,0011

8珠¥190。00まで

各球式有り

九三、八五 〇四、九〇 高いのかに 酒清 店商井商

及び滿洲國の丁公使の報告会が七、東京特體七日藝」駐日サルヴァ

使臣招待宴

中央亭にて

Joy of the Tasto

 日本各地名産 中 ル通 こ茶ゆ る 五 五四

界各 IJ 酒 食料品 錢 錢 小兒科 9

生徒募集

正江町二西廣場映樂館域 一次和タイピスト學院 英和タイピスト學院

町支店

0 **晚翠御案內**

△御家族連れには

△御同伴には 静かな美室

特に本年は東京より腕利の料理人を招聘致しましたというというという。

老

(州内)

廿本入三十錢を廿五錢に値下

下 値 兩 切夕 コ

平型三分計 1圓30錢

棒狀一分計 1圓50錢

東京日本福區本町四

、期政権を繞る

得運動閣試合

はかく戦じ來れば最後に幾す一人として解除があることはははなられてには、大野球機は男へ行くのが本際に思いて可い、迷惑に思いてつい、迷惑に思いてつい、迷惑には、大野球機は男へ行くのが本際がは思ふり、共野地は現下日本國で、大野球機は男へ行くのが本際があるといばればなられておいて、大野球機は男へ行くのが本際があるといばればない。

第三は選集の

沼男

車部の動きを見て右往左往

凱歌はどこに揚る

も無くなる。その間に軍部だけは重である。その間に軍部だけは重

典田

柄 約定期 値

火傷、痔疾等の良薬

糸續騰

部だけは見に

立場上最もや

清浦伯

から軍部の好む者を持つて來て次 な歌師の出来るここは繁物であるな歌師の出来るここは繁物である

は有力な候補者だが更に内珠方館、本館がひないか、その點で半溶男本館が四ないか、その點で半溶男

0

日蘭會

出發點 說

社

こなりて顧印總督府の困窮甚 より起つたも 日本品の蘭印に輸入さる

て、正式會商が開始される。此に聲明書を出したが、八日を以る三日バタビヤに到着し、直ち

は刷商が困る、関本國が困るさ 移せば、そして日貨を高くすれから商権を取つて之れを顧商に ふ點にある。何

しろ日前の手 考へである。それでは日南さ日 ば倒れるわけだ。 本品が打撃を受ける。甚らけ

而してその関

利益な考ふるこさによって、然 なら20・唯々、双方が、従來の歴 をか思ひ、現狀を察じ、將來の をな思ひ、現狀を察じ、將來の をな思ひ、現狀を察じ、將來の をない。現状を察じ、將來の のでは、

いが、代表の努力によりて圓満

票保

合

見狂丈 易わ夫 いぬで

って、

数點を登

本國にありては固より世界的総

益たるはいふまでもない。問題

歌人たるさな問はず)の不利

爾品が変れる餘地があるさいふ

白玉山招魂祭典に七日の宵祭なキ『族順』年に一度の聖鑑祭、旅順

るた で招魂祭の前衛振りた展開して で招魂祭の前衛振りた展開して で招魂祭の前衛振りた展開して で招魂祭の前衛振りた展開して で招魂祭の前衛振りた展開して がちまま場に取り浄化作業を行 がちまま場に取り浄化作業を行 がちまま場に取り浄化作業を行 がちまま場に取り浄化作業を行 がちまま場に取り浄化作業を行 の解けさて一しば婦女子が教喜 二時から繁三學年生以上の男女兒

致し市民にこれが

終始防禦戦に追ばれるものさ見 「関軍の陣容を見るに無順手し 「関軍の陣容を見るに無順手し 「関軍の陣容を見るに無順手し 「関軍の陣容を見るに無順手し 「関軍の神容を見るに無順手し 「関軍の神容を見るに無順手し 「関軍の神容を見るに無順手し

繁節十五萬國を計上した。 繁にラデオを公設する計畫をたて を要する計畫をたて

を表情に続くべしさて投書を敷理 を要で有風域の重が長は、よろし

したさころ、水のワ

する者は處分するといふ布告を出

は、一人に現金三百元さ土地百畝版を、 後に呼ぶこさ 後に呼ぶこさ 後に呼ぶこさ で、一人に現金三百元さ土地百畝版。

週年を迎へました事は真に慇疇にさに依つて、幸び大過なく二十五

堪へません。

主私の敵父さ故叔父様さ二人にて

行は御承知の通り、前店

さればならなくなった。

地方人に知ら く且つ速かに

しめ、且つ民

こさにし、二十日より質施する。 結果、農村巡廻を除所を設置する 塞天省の維陽縣公署では、考究の悪熱到来の時間になったので、

が実を表示すべく天津に特談された 御 民を教派すべく天津に特談された 御 民を教派すべく天津に特談された 御

展に努力

してゐるが、刺か通じて

れば滅魔喜びに

新潮して左の如く語る。 御脱ひを申し上げ

舉行するつもりです、奉天、

皆様の親切なる御指導さ御援助

有の自動的意志に制限しそれ以後 一個限しそれ以後 ではあるが一般

旅順第一小學校では六日午後

日動車登山

午前九時以前に

本年から自發的制限

下監官職会の手で総理を総ぎつゝ あるが、之れが完了後は直に響水本月中旬ブール覧きの運びに至る であらう、因に本年入場料は開場 であらう、因に本年入場料は開場

百七十七グラム。

した國産金額は、九十六萬六千一 滿洲國中央銀行が今日まで購入

友等は、長い間離婚訴訟にひッ美貌ならぶものなき北平の女優

四平街ブー

少多年者の顔る迷惑され

(E)

八月

模様傾であったが、

でして北方帝都に向った さして北方帝都に向った として北方帝都に向った

連日の降雨のため

横洲國が獨立國である「韓を述べた、次に滿洲特敵の事にはるべく、從つて税率」で述べ小包郵便の賜続に至つた經復日によつては日滿農工」である。

らればなるまい、

関の間にトラブルが頻出するこ。

は、 関によって受けて居ら打撃は大 関によって受けて居ら打撃は大 が、代用品の接 をは、発出来ない、代用品の接 をは、発出をない、代用品の接 をは、のででは、では、のである。

R要日の見込はあるか 大豆は満洲で既に造り過ぎ

滿洲

よ

0

日本

は

が總局用では一圓さなり物代費補大連に於て一ガロン三十錢のもの

大典梨樹縣大運動會は愈々八日萬 に崇られ延期に延期を重けた慶祝に崇られ延期に延期を重けた慶祝に

ため満洲名物洪水の被害な各地に、季天』季部外れの連日の降雨の

鐵路

緊張警戒

害現る

撫順炭受拂

に於ても開発及び運賃諸掛のため國内に於けるものさはギャソリン

てるこさ

梨樹縣運動會

止義團訪日團の感

六 年

午後二時十

してるた、此日鑑賞城内外は勿論としてるた、此日鑑賞、虚謝の意を表してるた、此日鑑賞、虚謝の意を表してるた。

る多くの奉祀送者に良くも御場手 御倉職を賜ひ、御機懈誕とく頭に四平街廳御着、驛頭に堵列せ 車のデッキに立たせられて御車のデッキに立たせられて御事の如く午後四時八分先驅列車な先 よつて一同最敬愛、殿下には

ホームに鄧養、衆野訓婆の指令は午前九時四分辷るが如く静か

九

トには野球

宮殿下には親く展響盛に立たせち表等何れも正裝して列を正し配も

お待ち申記が久とい

科長、學校長、婦人職幹部、各職代者さして列し普通家拜者中には各

て税関問題に入つて向坊商議

日満共存上問題を多っ特に農民が大部分っ特に農民が大部分っ特に農民が大部分っ特に農民が大部分

奉天にて

具院議員座談會

(中)

要松子 農産物は世界的に生産過 でなれば日本或は朝鮮で打撃ないれば日本或は朝鮮で打撃ないなれば日本或は朝鮮で打撃な

十 し八日午前五時同港出帳一路参山 に応ふさ

七麻日な同港に転渡して見撃な気が時無事教質港に安養した、六、六年無事教質港に安養した、六、

峰谷 満洲では最大二百萬石しか 生産されないご見られて居り、 何等心配するに常らない、水田 の可耕地は限られて居る、只多 く産する様になつて米の値が安 くなれば満洲人もごしく会用 するだらうから何等心配はない

自殺か他殺か

農業恐慌對策が論ぜられた

麥代作

は

戦前ドイツへは大王二世紀 施ど縁谷總仙事は 施と縁谷總仙事は

に出版を除始し、煙塞は燃酸後 ・ に出版を除始し、煙塞は燃酸を示

な各家に寄献して見撃さ共に常智 は後各家に寄献して見撃さ共に常智

をはいる。 をドイツからは一千宮側とか入って居なかつたが、日本なも加 へた場合はよきパランスがされ なものさ考へられるのだ

大鯤丸敦賀着

要以下駆公署戦部十数名特定奉拜となるに達し満洲側からは楊総長夫は名に達し満洲側からは楊総長夫

沿線各地奉拜者

威

(可認物便郭種三第)

公姿を拜

に於いて解離式を行ふ筈で

採算不利に惱む現狀 【四平街】四平街湾年訓練所生徒 四平街青訓の決議

總局自動車

も見らるゝ滿電パスの 来る十日 (日曜) 梨 生徒全部に分配

(日曜金)

ありキロ當り四十

今その内部を見れば

それを見れば

際硫也ですに採筆上根書の苦心 合理的方法を以て當つて居るが を天上の記述 奉天』館路總局自動車運營に最

雅 () 出 一 一 原價() 型 一 一

訓友誌を發行 心身練磨を圖る

も進歩した自動が 九、一一〇〇% 七、〇 一四% 七、〇 一四% 的に三日午後八

ル作り六月十五日迄 3行 訓友誌の原稿 米に供す る場合は絶對に 「方不明になった漁艇は五十隻乗組」 大つた臓獣のため鴨繰江下流で行 くつた臓獣のため鴨繰江下流で行 である。

白玉山も不夜城化

か、り見下掘無でドイツ病院に入す に立ち、自力で一生自由に移した。 に立ち、自力で一生自由に移した。

である。

る處义大きく真に歴程すべき事

き社長内田窓民氏指導のもさに、 大連市に於ける内田洋行は、著

前店主の遺製を繙き裏心業務の登

祝與た果げましたが、大連は鬱酔

大阪木店は叔父様で弟とに依り

の土地でもあり十日この記念すべ

さ日な大阪に負けずにより盛大に

いて連続の

忠魂碑の欄内

祖しの三十四隻を除き日本壁滅船三ので運命を絶望観れて 捜査に努めてゐるが無事婦形した て恐らく黄油の影響 龍岩津豊では連日飯山津を中心に 十二隻計十六隻は人工 一覧百二十三名の多きに塗したので 優、朝鮮壁滅船一世

華やかな祭典風景

けふ旅順白玉山本祭

だ少く又大連に於けるものと滿洲、經際收支の好懸が期待。安であるが標局としては突通範末、最自動車線の使命其のとなるのと此して驚くべき格○%を占める関係に在来のは、「最高のものに比して驚く、 雜 原價價却費 燃料油脂費

四〇三一二 率も低くなる関係に在る總統費運輸密度の薄さのため原質機却

天氣に鑑み決行の場合は八日の早か少さて豪雨の場合は更に順延しむな得のので驚事者は昨今の不願なな得いので、

構選を合か開催して得た純益金五は選級「すわらじ劇園」を搭照義 日圓な旅順防護團の基金へ寄附 部の寄附愛婦旅順支 旅順支部で

朝鮮黄海岸に颱

風

偲船 十六隻 呑まる

め大阪の仕入部が同業者間に認め 收めましたが、この支店設備のた

られ、今日の基礎を築き得たので

經濟恐慌に遭遇し業務上幾多の

明を獲得し、今日の大内田洋行の盛に勢力した為、一般の疾討を得て

込んで、

し、支店を開き相當なる利益を 露店に等しい借小屋に世

當局連日の大捜査

一隻、支那型漁船

開催してゐるのな一堂に會合しは各府縣人會が各自に野遊會ない目的さするさころで、一個人の運動會の目的さするさころで、一個人の運動會の目的を対象を表現してあるが、「一個人の運動會の表現してあるが、「一個人の

熱識に否まれたも

奉撫陸上競技會

運轉手ドロン 轢き逃げして

撫順軍の雪辱成るか

▲ 本天第二師範學校生徒六一名六版 「日來版即日離版 本市島第一小學 校 生 徒一八一名 市局第一小學 校 生 徒一八一名

1 もので、大連市の登成史上に容典 石単に至り株式會社の組織と爲し

事 総職をおしまでは上進歩を職る歌 て從製虹一同と協力、尚ほ一層の では、全権戦を傾け、変された

天、新京に支店な設置し、大正十城は大阪に木店な東京、大連、奉

其の基礎は経々强固さなり警察局

▼ 父の繁素方針が宜しき為こ常に感 これら一重に金従業気の努力と 戦 これら一重に金従業気の努力と 戦

も最も有利に基礎づけられ、益々

も時宜な得たもので、わが業界に

あの大震災の直後東京進出に最

沿

線往來

(熊五銭、大人十銭であるさ) 一個、大人一個五十銭、一順は子

| 職れてゐたがやうやくその大綱な | 磯の全 體に 氏な本年度の實行機領につき懐討な | 運動委員會など、 運動委員會など、 度り極く平易に所謂 と設け撫順及び撫順炭 が無順炭が無順炭

灰礦讀本を發行 社員の常識涵

撫順に常識涵養 委員會

會聯合運動會

各違つた郷土色を織出さうこ

奉天で初めての運動會

配を な 機局事故係では 機局事故係では が くて水響事故

| 従事員の緊張さ災 か列車運行には支障したが路盤くづれ五時間列車不られる時間列車不

二七〇トン貯炭九七〇ト

◆の子山受入二、九〇〇トン排出 本調に数電所新設を計畫して諸調 なが子窓受入七三〇トン排出七三 数山海陽電短股份を見いて入口、五四〇トン、排 はて之れが完成は多分本月下旬と 出一、七八七トン貯炭三、〇九 で開業の晩ば諸用五千億に及ぶも こトン で開業の晩ば諸用五千億に及ぶも にてとれが完成は多分本月下旬と が にてとれが完成は多分本月下旬と が にてとれが完成は多分本月下旬と が にてとれが完成は多分本月下旬と が にてとれが完成は多分本月下旬と が なれば七月一日頃より監修の独定 生 に しゅう から正式 ものがあると ▲煙薬受入一七、三〇〇トン排出 一八、三八一トン貯炭六、五六 營口水電發展 【營口】

ため、政権不完全にて之に伴はの為動が大小の会社、商店敷知れず、其の 様になりました。 まなと師走の晦日自から同地に乗 株に計農隘家とた時、機至れり って苦して水ました。 間には迁除曲折な幾多經で來まし の一角に交具製を開いた事は、 たが、常に酸父は努力を英節に依 殿父は二十五年前既に今日の



六道溝に匪賊

通譯の怪 康平縣公署の金氏

者さして脱典を果げ 者さして脱典を果げ 勝館に提索して、社

開係者多數來會盛大なる耐地を影 げたが、當大連支店では當地關係

つ連續師の株式管社の田洋行は本郷は解する一文具度を削身に持て 年を以て創立二十五周年を迎へ、 すが、驚時はお話にならの程で月さいやかな気息店を帰業したので

發展ごその現狀

内田洋行の

創業廿五周年を迎へ

出て夜少しも安眠することが出來

ちすぐ遮蔽の説明に移ります。これがは説明する必要ありませんか

圓の物が十七錢で出來る

經濟的な家庭製法

ダイヴイング 曲跳のことで一米が至

何なる方法によってもよい を三人以下で組めば他は如 の命令によって行ふも ムヘラグビーンレフエリ

凉味を第一の

夏のお召物

お着附け心得帳

お下山に締めとす。 操下山に締めとする 限りせま様にして、

一 さら。常様はうす色の無地、常しおい方なら中のひろい組織の方が、 選邦など おい方なら中のひろい組織の方が 兄やす枝氏鉄) 兄やす枝氏鉄)

油虫の臨除法

やでも死滅してしまふのですから | 小型校 | 単校 だより (九日)

の濃殿な 物のためにきつく感でられ、十場の濃殿な 物のためにきつく感でに知って戻り、電いでは知って戻り、電いでに対感の鏡で自由に方向を換こって選来 線は必要以上の電球では却つて戻し、電い窓に対感の鏡で自由に方向を換こってといる。 十りません。くらげは西洋ではギリが一次に打ち上げられてゐるに遠ひあ一級に打ち上げられてゐるに遠ひあ

い燈火にするもので先づ警通笠の サー以下は一枚、それ以上の電球に たり以下は一枚、それ以上の電球に たくないかぶせるの ジは二枚離れさして種のかぶせるの ジ

つこさが先決問題、私はこれから 登談を防ぐ方法は次の四通りあり増火管観のために上空に黙し光の 具體的燈火管制法

七 課

元す如く下の終系は必ずつけてそ あも同じであるが際射酸で製造 のものより嵌いのであるから脚に のものより嵌いのであるから脚に

伴野英二氏談

詩の女・夢の 鈴木春信の/錦繪/

から申しては先づ を から申しては先づ を が好ん

るのです、この場合一番よいのは その垂れ下がつた部分を終れて或 る程度級り勝利的確心輸小するこ さです。次は核株型のものに對す る連徹法ですが特殊型のものに對す 十 りません。くらげは西洋ではギリシャ神話に名高い、三人姉妹の妖いのサンの髪毛に、その鰻手が似てあってたジェリー見だいな魚ださあってたジェリー・フキッシュさもいはれたなってがらメヅサさもいけれた。

◆春信の傳記は不明で何哉な以

ていふのも外織って京味を懸します。戦後間に至ってはおばあきんたのが認ましいのです。そのためたのが認ましいのです。そのためたのが認ましいのです。そのためたのが認ましいのです。そのためにはお召物の身幅減分廣目に仕立にはお召物の身幅減分廣目に仕立いるのが認ましいのです。

口

同點で終つた住合をタイ・ ひますご美しくすきこほります。横の混合物を塗りつけがはで流がで流が

ひますから、取扱ひに充分注意一般に興行能なものはかいで居る。子である。まカットの標の先きにぼろを結へつけたものにつけて換ります。酸は劇響で一般に興行能なものは少いやうででは変しい、シャの後の町はのはから、取扱ひに充分注意一般に興行能なものは少いやうででは変しい、シャーの様の情にある。子供達は中ヨの一人は必要になる。これの後の町はの様の影響に関いて居る。子供達は中ヨの一人は必要になる。これの後の町はいますがある。上に親も、自然に親ませるの中では、シャー、レストラーの様の情になる。 達が家にかへつて行くさまな、わだなるさシャベルなぶらさげた子供になるさシャベルなぶらさげた子供になるさシャベルなぶらさげた子供に

前歯が出てる

脚がひごく出ばつてゐるので友達 からゴリラ、ゴリラミ云はれてく からゴリラ、ゴリラミ云はれてく からて冷らないでせうか(大連一 かして冷らないでせうか(大連一つ 《答》程度によっては てゐるさかいふ程度のものでもば前脚の一、二本だけが出ばつ 若い内なら治る

いろくとかります、何れにもて と続にもなつたら治療困難です と続います はます 法等 襲骨から出てゐるや

て起くなつてるます。 あつて、水盆などに盛るに ごれもこれもみんな角が取

かはつてゐることは四月から十一ものは一般が家にかへつて行くさまな、わだから、日 汐干狩の獲物

こさはありる

ヴィジョン

滿日俳壇課題 東京市牛込區若松町八一

土用波がうれつて來るころ、液いなせん。夏休みも終りに述づいてません。夏休みも終りに述づいてません。夏休みも終りに述づいてません。夏休みも終りに述づいて

さである。四 時間を一時間早めるこ

るる。子供塗は特等の房車に乗った機が有名だ。子供を連れた婦人が縄が有名だ。子供を連れた婦人が縄がなごなしながら子供を遊ばして

ない。

機能して行くのだから一日を其造物である。日曜など飲物で食物を変している。日曜など飲物で食物をつてるる。日曜など飲物で食物をつた動は一般であるが、

品產國良優定撰省工商





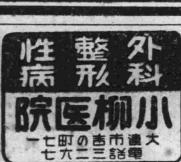


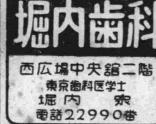
元 造 所造製具繪星三 町西·谷下·京東



満鮮及關西代理店















2

二八。八。

さ歩の飛玉。

▲十八七 歩 七 六 銀

自皇 品皇

玉桂

【面局の迄歩六六は圖】

審

選 選

しさしてはこの世に生きる重みなくなる外は洞座いませね」

た生きる重みが

、これを敵の手から

暗は泥のやうに遊んでゐる。何二人は、怪異に屹さなつた。

特本選社

新

棋

【其六】

角落奔

E

、一夜艦歩に感じ、それまで植っこさになりました。この音鳥こさになりました。この音鳥ので申したさうで御座います。

月六 すさいふ。世にも不思議な口、 天地自然いかなるもの、音

九

子の警ひ

木氏

亨

船

(152)

Ξ

日本棋院

春季大手合戰譜

並 初 初 段

ま も 大 ま 意章

郷陀王は、思ひ出したやうに読 をも職すこさはない。据で、そこ 「ふゝん成程、不思議な館なや」「「古來名 策 さ 畔 せ ば、 瀬 博雅の「二つ業」三條 鵬 甘 藤原 糖忠の「一相楽」 架人助元の「蛇逃」 平勢の「左杖」 その他「笠置」「糖の「左杖」 その他「笠置」「糖

こにノ十六(4分)二にノ十六(4分)二四れノ十四(3分)一八れノ十六

大幸ひ、また天元を試みました 対局者の言葉 (黒)光番 (黒)光番 いつてゐる懐みで御座いました」 わたしさしては今街から胸に も見えないっだが、 (白)穴では七若しくは(ぬ四) も(ぬ四)の方でせうかー黒がくたしたのです いづれかさ言へばこゝでは七よりらが多く打たれてぬますから踏襲 しばしく見まず、天元があるから

繋だけがはつ 人の話、それを要美に、わしの題

ではさるのもだもちゃ」 ではさるのもだもちゃ」 いた。別に金をくれさも、命をく「して蝦みはそれだけか?」
「何者でもないわい。前にも代へ、野味を凝してからにしよう」を「何者でもないわい。前にも代へ、野味を凝してからにしよう」をした。別に金をくれさも、前の後になっては、野びでいった。別に金をくれても、前のなり、一つでいった。別に金をくれても、前のなり、一つでいった。」「合語域をの人間」「何書きや?」

て、行燈の灯を消した。部屋は真となりつたやうにドツさ入って来 如の間

うに、鰤だけが赤く見えた。 え立つて、ほんやりあたりを明その闇の中に、矮火がほのかに

○演藝(満

「滿語講座」講師高宮

「日滿講座」講師植松 機能で見であつたかりますが 接近してこわりますが其電池もはないでしょうか。別の電池を

城(JOOKE)

電気了後セットに搭載し二時間後 五球ニュートロダイン 電影一、五Vまで降りと偽弦日更 電影一、五Vまで降りと偽弦日更 電影の発覚の電池を接觸せ 不良さ思ひ全然別の電池を接觸せ

《答》 A電池の充電が 茶園 A電池の売雪が不完全で でした(大連・TS生) ハガキで

さへほにはるい 四

-[1]

悪をおのみになって、果して御期 虚弱で病をついと思って、色々の

すり楽攻めにし

でも楽をのんだ事

罗公和统

二十分程聴えてゐ る内に又電壓降下

でより全く平原報した様な科 水めてついけたところ、十日 心臟

んなによくなつた ・ 東たので、更に今度は徳田樹を となく身幡の気がよくなつて となく身幡の気がよくなつて

神經衰弱 腦力精力衰弱人 の人 の人

後恢復期等 R

貧血でやせた方 質得なものなど食べて、思ふ通り 色々の栄養期や んだお方は『奇妙によいものを見 葡萄酒上りも味がよいが、而もの後をひく種、芳香美味で、上等の 付けた」と師しやいます。今日ま

何によりもよい 次の様な人には

の虚弱體質の ●貧血冷込みの人

●産 前 産 後 婦 人

表へ息切れが

0

健康の方までも、一層頭を上 今年の冬こそは 元無候削として能率をお進め



深山仙酒と稱へらる、養命酒とは何んなもの か、小巖語(説明書共)全部無料で送呈しま すから、東京市澁谷區上通四丁自州八番地養 特許鹽澤家養命酒の文字に特に御主意の上御 特許鹽澤家養命酒の文字に特に御主意の上御 特許鹽澤家養命酒の文字に特に御主意の上御 で、東京出張所へ代價に途料として 水め下さい。東京出張所へ代價に途料として 水め下さい。東京出張所へ代價に途料として 小包にて急送致します

英國製高級煙草 陸軍藥局方收載 十本。二十本。五十本入

獨特の優れた味を持つて居ます。 市山縣運百八 ーストマンコダツク會社

一品なら何 んでも揃 131 33

一

| マーマルチのグレス | マーマルチのグレス | マーマルチのグレス | マートです。最も美味で、衛生的で料質ないのみないであるなどです。まる美味で、衛生ので終もヴェッチを常

際ウヱルチのグレー

ANALYNY ANALYNY

プ・ジュース(葡萄汁酒精を含マズー

Welch's

Grape Juice

難いことには

用法 至極簡單コップ 四分ノーのグレーアジュースに冷水さ氷さ氷さ角砂糖 適宜、レモンの一片を浮 でれば尙結構で

7體の弱い人に 實によい物を見付けた

なくとうないとうとととととというないというとうというというと

↑オリエンタル留地間

四四月易商會

一項的過勞者の必排業!

州天龍峽の自然の氣候風土の中に そして本當に身體の質めになるも 美味くて感じが なかくありませんが、食 今の名物であります。 谷の名物であります。

魔職さる」、監督家三百年家傳秘 法の養命酒ばかりは、婦人子供も 大きれて、新鮮な皿液となり健康なされて、新鮮な皿液となり健康な り、食べものもズンく治化吸收 力の基となって、夢もキク様にな 震飲の方は、日一日、身體中の生 気を生じ體力がつき、それが同復 朝夕一パイづつ 活機能が活像に働く様になり、 活氣を催します

丈夫になったと喜ばれついありま 先まで活気旺盛になって、懐虚や コタツもいらな、風冒も引かなく

新

病

〔適應症〕急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・消渇等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず淋菌を滅殺し尿を清澄ならしむ、持穣服用

藥

寫が コダツクフヰル 確實 で

コダックフヰルムは常に品質が均等でラテイ 描寫する性能を有し一度此のフヰルムを御使 チュードが極めて廣く豐かな肉乗りが得られ ると同時に光輝部及暗部のラテイルを繊細に

んだ柔か味とに永久に忘れることの出來ない ひになった方は其の豐麗な階調美と雅趣に富 各サイズ全部取揃



實滿

前記出

(日曜金)

新京特電七日韓一个日秋父宮殿

八十五媼の喜び

思ひがけぬ

御先導の大任果し

変さして旅順要送部技順コペーカリー 変さして旅順要送部技順コペーロリー 下幕僚中村局長及關東顧關係課長

匪首捕はる

高粱繁茂期を待つ中

か逮捕されたものである

教材ご歌詞の 募集締切期日

満共存共衆のため塾にもい現象であることを痛感してゐる、これは日

ルビンで發見

招待の午餐會

南浦洲教育會に於いては満洲獨自撃を受け

七月十日迄延期

は一行三名は途中呼吸の整 時代の涂に就いた際江駅本 は一行三名は途中呼吸の整

北満の河川氾

錢家店附近

一面の海

感激を語る赤

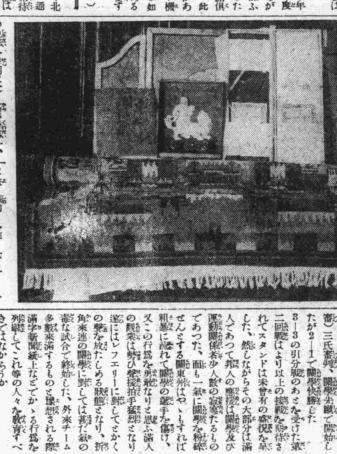
感よあすから開始

實業果して劣勢か

六年の満洲県歌詞の二種 の満洲哺光臓木数材並に の満洲哺光酸木数材並に

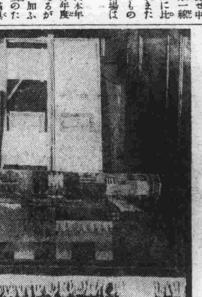
生徒が共産主義とファッシ 生徒が共産主義とファッシ 生徒が共産主義とファッシ 生徒が共産主義とファッシ

歌歌歌集中であつたが都合 送附されたいさ 歌歌歌集中であつたが都合 送附されたいさ 歌歌歌集中であつたが都合 送附されたいさ 歌歌歌歌師の二種 中の豫定、原稿は大連市兒玉町七 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南瀛洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書総歌部へ 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流洲教育会教科書と 一番地南流 一番地南流 一本の 一本



観楽は勢び整接拍手猛烈さなり

紅白紅壁綱さんでいら塩雑漢獅子(下)は絨毯、父宮様へ關東廳の献上品



一条に関撃を粉碎の人数の寂寞たるもの

救援隊氣遣はる

の聲を放たしめる既態さなり しては甚だ氣の

ンユート成る

川井部水田井中井田邊澤(GK) 基金҈推建設

どんな

本田参事官ら無事

寄附者芳名(対別の分) 田嘉一郎 大連西通池田小兒科

西松宮清三笠田村朝田野

鐵經大勝す

對檢車軟式野球

累計一萬四千八百五十 大連山縣道馬場點之 小崗子質屋組合田村

京太陽ホテル紫新京ダイャ街永樂町一丁目角

登敦房候間御旅行各位様御堂顧詢援助御瀬申上候 登敦房候間御旅行各位様御堂顧詢援助御瀬申上候 「「「「「「「」」」」 「「一二」 五二番 「電話」 「同二二 一五〇番 梶田小兒科醫院

越後町岩狭町角(電六五〇七)

交通文化の第一先駆 35 大連自動車株式會社 大連自動車運轉手養成所

上にも尖り自っか

性満戦が近づ

機野球通がス

昨夜ヤマトホテで

貴族院議員視察團

通速職され銭家店附近は一酸の海

ため北浦各地の河川は池澗と通途である。

日頃までは増水するものさたるものである、個ほ河水へ家が貼々さ浮んで居る機

盛な土俵開き 滿鐵相撲部の

(球番) 瀬部小名甲野(郷番)三 (球番) 瀬部小名甲野(郷番)三

四圓九十四錢也

郷理野機車區の優勝戦は七日 第二回滿鐵社自統式野球大會鐵道

マ土肥部長速見勝料以下多数能量 日午後五時より計量俱樂部塞土俵 でその中心たる消滅相撲部では七 でその中心たる消滅相撲部では七 できるの中心たる消滅相撲部では七

島伯來滿

日滿兩國體協の

接近に努力の爲か

工材丸(三六噸)幸神丸(二四噸)が市内近江町福井組所有帆船第十二

乘組員は無事

▲同俳句講演會 午後四時半より

本社見學(七日)南喜

生徒一行八十名

行の歡迎會

盛大に

東京七日養國通』日本標協和問、標協幹部に迷し新たに生れた東洋 バスケット総會長副島遊正的は滿、體育協會に滿洲國の變加を脆試す がスケット総會長副島遊正的は滿、體育協會に滿洲國の變加を脆試す る日確で極東大会以来疎隔を来せ 、現立て滿洲各地を旅行するが滿洲 らしい 哀れな凱旋兵の

日午後四時頃幸神鬼は大孤山會菲 管りの海上で強風のため顕微、同 を前八時大孤山より大連に約二里 の海上で強風のため顕微、同

滿日婦人團の慰問ご 家に集る同情

目下流失船機の捜査につさめてゐ ので海事課では直にラヂオで放送。

タンドにズラリで居並んで話題 の電氣板に8さ書いてあるのは なんちゃ」これなざはまだまだ なんちゃ」これなざはまだまだ なんちゃ」これなざはまだまだ

り七日午前海事課に報告してきたいます。

奉天から匿名の寄附

後で映画の食が七日午後七時半年の一般の防空思頻楽及の気になる。 防空に関する瞬東州防空流気

名乗る人の質消酸性類形に、當に及んだ、開封するこ不安生さに及んだ、開封するこ不安生さ

称に先づ八日或は九日の新聞に

カンカン帽子

(原文のまゝ) 六日付の新聞に て田村懐御一家、ほんごうにお きのごくに思います、誠に少し ばかりでそれに失禮ですが私の 心もちをおくみ下さいませおい 子様へさし上て下さいませおい そがしき所なすみませんがなに とどおりがります。

滿難蹴球第二

審)三氏歡塊、關鑿光觀で開始し に於いて內田(主歡)久道、桝(線 地(線) 関西學院型関東州航球第二回戦は 關 對關東州蹴球二回戰

3-3の引分戦のあさな受けた第 然しながらその大部分は満

左次に山上へ上るやうせられたいさの野路取締の関係上成るべく年前九時が移取締の関係上成るべく年前九時があるでは難事を使用登山する時は遊りの参拝 招魂祭參拜注意 漢学より海正面五千メートルの海岸より海正面五千メートルの海岸はり高射砲の管弾射撃を 大事さなつた、端つて同海岸沖

0

小平島釣競技會

加希望為(古内の約11店へ時込まで来る十日の日曜、食料時報社の主は 明二十等まで賞品を呈する町、参 明二十等まで賞品を呈する町、参 の受験雑誌

壁天井紙 襖紙紗織

發明品新

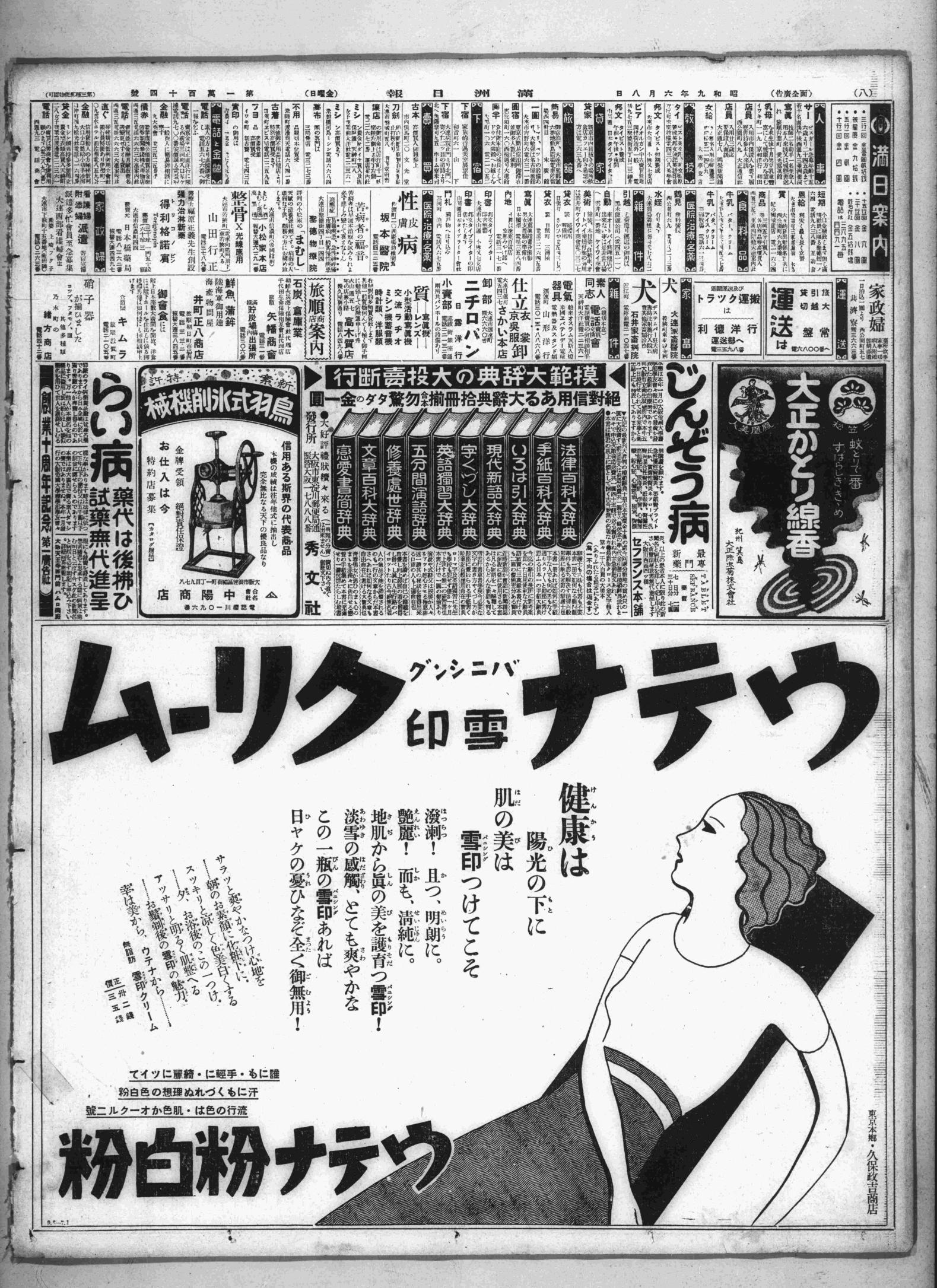
大連市西公園町安香所第向 長崎駿愛野 宇和川町

治療

盛、聖徳街五丁目一八三 高 橋 小 同經營者を求む御報参上委綱面談 の必要上共 の 日下満郷、軍部、新國家へ納品し 求共同出資

時過終了とたが來食者多數あり盛壽 の客殿並びに勝空の用意と思する

② 松本紙店 化 粧 品屋 小鼻 治商店 艶をつくるのおいの 大尉の娘の場所に **新坡主6市路 水野東代子** 電話へ五五四番 病 きで申込用の場合に対応 顕鮮な流行歌と名作のドラマ化 テル が泉東治 電話設備完全 ILE SAIL 特約店募集



電東京六日登園通』アラジルの移 ・ 大春秋は戦闘はよ月二十四日慰波継定 ・ 大春秋は戦闘が不合理なもので ・ ち春秋は戦闘が不合理なもので ・ ち春秋は戦闘が不合理なもので

おいて勢働者が非常に不足なるに際してこれた補充し得ざる缺れる修正れ為すここは明瞭である。像つて憲法中の規定に對して單典へられるならば右の規定に對して單色へ四分叉は五分に引上でべき

突如死去した

後之が決定なみて始

限りを立て、一、赤軍兵士の両境とは、同地住民に飢暴のことで進入、同地住民に飢暴のことで進入、同地住民に飢暴の一、赤軍兵士の両境とは、一、赤軍兵士の両境を強った。

奉迎門の電

天皇陛下に

とりさき 動民機北側の便

便殿にお

一殿下の御頸着を御待受け 康德皇帝陛下

郷國務總理大臣、宇佐美國 教師にた、これより先、晴れの午餐のいた これより先、晴れの午餐のいた 湯のあらせら、大

いて恐懼して左の如く語る いて恐懼して左の如く語る 大臣に退出名

御正装に御身を整へさ

官等を聞へさせられ武場たる就民性能騰重、権田、津田陸海軍武・権田、津田陸海軍武・大衛騰を開上の政務等に御小憩後

徳皇帝に包み切れの此の御慶びの ・ 御撃もいご高ちかに今回の重

登、日滿靈響の殿とい御醫術神な午前十一時五十分御假旧所な御出

大臣に選出後、國務院總理室にお 大臣に選出後、國務院總理室にお 大臣に選出後、國務院總理室にお

並に動意様宝の御儀を終ら

にて便殿を出神、張侍從武官長、御禮脈を召され、皇后陛下御同州の神禮脈を召され、皇后陛下御同州の

排日貨色彩除去期待

立法院の日支關稅改正案

倉間の成行きに

當然の事だ

外務當局の談

解除したさ確定する、 関し大局的立場から重

和し基礎工作に努めるほごである を開展関東を利は全球では、それまで解析し基礎工作に努めるほど、それまで解析の選近した空氣を緩が を表していまかられる、それまで解析のようなでは、これまで解析が、これまで解析が、これまで解析が、これまで解析が、これまで解析が、これまで解析が、これまで解析が、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これまでは、これを表している。

北一位諸監章はどめ較くの御勲章が他の御正裝に大動位廠花頭飾章

大低を繋させられた御覧きに對し奉り御滯ほりなく御

御電奏あらせられた

(日曜金)

▼上海特電七日發型 現行 支腕彼の歌正を別録されて居る必要あり態にこの家に行政院を經の飲まを期待されて居る必要あり態にこの家に行政院を経の飲まを期待されて居るの無は相當をれられる模様で採目貨

一分の規定を

排日の急先鋒

を注視してゐる、即ちが外務館局に左の如く今後の成行

で博士死去

見解を披露したと解されていが、相

四、五分に引上よ

伯國移民案修正意見

\$

か照し莊殿の無松市に満つの陽光五彩を帶びて桑えあ外は纏かしき裝備を整へら

は今間副官、魏見秘書官幣同九時 は今間副官、魏見秘書官幣同九時 は今間副官、魏見秘書官幣同九時 は今間副官、魏見秘書官幣同九時 は今間副官、魏見秘書官幣同九時 は今間副官、魏見秘書官幣同九時

一部とた様は繁張にふるへる、此時 の茶々しく捧持する天皇院下の 数下には皇帝、皇后兩院下さ殿か、 の茶々しく捧持する天皇院下の

東徳皇帝陛下におかせられては同 宮殿下さ晴れの御新蔵遊ばされた 宮殿下さ晴れの御新蔵遊ばされた

御正置さして宮中に

御親書を受けるせ総へ

午餐の

御宴を催させら

感慨眞

た、此の時御名代宮殿下には接伴 宮殿下の御夢内を御出郷へ申上げ 三十分参内、皇帝さ、もに御名代

一等質定量を息后陛下に検索し絵が整个身帝陛下に検索し絵ふ、綴いて大地学を身帝陛下に、「大神学を身帝陛下に、「大神学を身帝陛下に、」

北た、殿下には鷹鴉たる陸軍歩兵 大尉の御通常職装にて林首席職員 大尉の御通常職装にて林首席職員

輝かしき装備を整へられ 被変性き日、寒運丘上の宮廷の内

遠の基礎を確立した、東洋平和のため洵に慶祝すべきであるせられて最初の且至高の歴史的盛典が御滯りなく運ばせられ、兩國の交誼は此に久皇帝陛下に對し御親書並に勳章 捧呈の 御儀を行はせられ、日滿兩 帝國 皇室に於か《新京特電七日發》 御名代秩父宮殿下には畏くも聖旨を奉戴あらせられ本日滿洲國

主高なる歴史的盛典

御名代宮殿下、康德皇帝御對面

けさ勤民樓正殿にて



社報日洲滿社會式株所行發 田田

乾電

たった旅順要冷部所 並びに繁十五幅逐隊康、 一 株文御名代宮殿下御召殿下御召殿

御警衛各艦

康德阜

玉帝御答禮

東京六日登画通」球友会総務会

に続人されてゐるのが、一般行政 行為等である、又現在特殊繁榮監 が、の四科の外に引送料から新設

下關係各官職を極々形衡を横げて

政友總務會

散会した 関等機とあったが一定せて四時半 戦争機とあったが一定せて四時半

る裡に再び御旅館に向しめ御膳館遊ばされた、時に十時一十五分

餌夕

一代宮殿下の御宿舍に

御休恵遊げされたる後諸良威敬禮一奉送明上

人動位 歌花大綬章を焼

日満國交の基礎愈固

百花にて打ちて

めて美はしく、数下のた、かくて皇帝陛下に 永遠の親みな象

でれた後、殿下を跳氏想表立脇御 神打ち覧ろがれて種々御物語を交 地では、殿下を跳氏想表立脇御

んで

藍の色の類かな仕立戦しに手を連一本太線がペットリ並んでゐる、

六本縦に通つてゐるさ、そ留守を幸ひ、今日は、繩い

專太郎審

パパの目を忍

婆や?」

くお似合ですわ。目が

週間。おきなしく

してゐるん

、陛下には殿

の位置に着き、かくて別室で奏す を樂の鵬べに、葉やかな且つ記念 すべき御宴が開かれた、宴伴にし すべき御宴が開かれた、宴伴にし すべき御宴が開かれた、宴伴にし 親多護所議長以下各参議その他日館具、國務總理大臣以下各大臣、 時五分殿下の庫郷に皇宮御歌御師・時五分殿下の庫郷に皇宮御歌御師・

陸相、總督 けふ會見

本 能問題、滿州各民間壁につき整態だっ。妻子の許へ、月に一度づゝ、粉野られ風燈響倫別題には記及らな妻子があつた。子供は中壁の二年頃の別られて、恐らく右には極れぬさ。か 三年 さかかなるは降いてるの製られ風燈響・膨野・ 転転撃 た。妻子の許へ、月に一度づゝ、 粉野 に 東京七日養國道 一杯屋棚に本日 「フン」

委員會 数民政策協定 る仕來たり

る一出して、かをるは「ラ・フランス」 ランスの化粧品のこさをふさ思び 最近撮影所の友達から聞いたフ

らも、しかしその都度、かなるさう云ふ葉々しい間頼さ知りな

▲帝津十郎氏(大 連 商業 銀行 頭日入港香港丸にて鯖連 日入港香港丸にて鯖連

で、開會式電日工業 ドミー・ ・開會式は八日さする ・開會式は八日さする ・開會式は八日さする

氏(新任日清生命嵩洲支

の形式で六日から事質

おける折衝は両首脳間

(DE 0

六旗旗長會議

警史榮光に輝く。 九千萬の手と手、三千萬の手と

職器の不承認問語、相手

然で励めるつ 政友會の結束論、

ンパイル西南國境線を確

戦の自由を東郷す。

日蘭會商開始

『ズタビ

日蓝

會商方針

開會式は八日ご決定

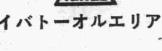
會談の形式

世の中に

戦化粧品量のボーズがあるんです「すぐは私駄目よっだつて、二三 「今日晩御飯附き合はない?」

たので、何頼なくかかるが目を上い際既を除りて來る靴の音がしてなる間に、奥の 「あッ」 りつ さかかるの 上へ 据点 住服の者紳士が、階段の途







の方から吹いて来るやうな風が、 の方から吹いて来るやうな風が、 の方から吹いて来るやうな風が、

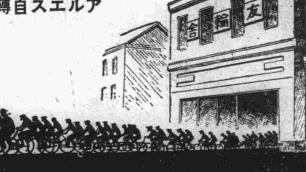
彼女は滿足して家た田た。











御親書、勳章棒呈御儀 御滯なく行はせらる

昇 木 鈴 人行費 治代喜本橋 人機編 盛 式 村 本 人和印 地番一冊町園公東市連大 満関 東 鉄廳

整成の方となられた、唯下には陸軍なりのに大脈位領花大郷章の御贈を受けませられた満洲國皇帝陸 本地を受けませられた満洲國皇帝陸 本地を受けませられた満洲國皇帝陸 本地を受けませられた満洲國皇帝陸 本 機式御正裝に天皇陸下より御贈。答読あらせられた、陛下には陸軍

御贈進の御

禮を述べさせられた、

は陸軍機式の御心野にて張仲從武 ・一生の神智車が飛光門に御着あるや ・一生の神智車が飛光門に御着あるや ・一生の神智車が飛光門に御着あるや ・一生の神智車が飛光門に御着あるや ・一生の神智・中上げる、やがて正午殿 ・一生の神智・中上げる、やがて正午殿

有する滿洲國梅邊聽經際は來る七一

港外着鎌定 たこま丸。

八日午後二時半大連

大きな大きなでは、大きな大きな大きな大きな大きな大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、

御出班へ遊ばされ、殿下さ聞き

御握手の後、東便殿に出迎へ遊ばされ、殿下を聞き

御誘導遊ばされ、

陛下の御親書並に敷草接代貨侍立の下に大日

使館首職者約六十

内、殿下の御着

殿 郷を連べられ、思くら何杯を駆ける 御宴室の

海邊警察隊

警察廳と改稱

千歳丸

八日午後一時大連

下の御感激の御目送を受けられつからなる御歌歌を御究徳を御究施、剛陛下さんの位置に復きせられ、剛陛下されからなる御歌歌を御究施、剛陛下されからなる。 の御様子にて正殿を御退笛、時正 接性員の御光導に林首席鑑賞以午前十時十分、御名代宮殿下に 御重任を恙なく果された御慶び 総さ御順用、沈宮内府大臣、張帝なる。

華やかな午餐御宴 日満交驩の歴史的 **羅監察院長、各泰議、各部高官並一両村正副門、沈宮内府大臣以下各部大臣、「日本側**

●課長、谷参事官等軍大 - 御使命に黙する御禮さ、左邦日本 地交櫃大使以下西尾、 れ、御飯重なる御日調にて今回の かに御起立 秩父 窓殿下に 野せら

に無量

國務總理恐懼謹話

氏(關東歐醫官醫學例

▲木村六郎氏(満 銀 地質 調 査所北行 一十一名は七時四十五分 七日午前九時發はさで

議題等につき具體的打合せた開會武當日は議事進行の手續

のドアを押して這人つた。 「入らつもやいまし」

手さガツシリさ組む。 陳國民の呼吸合致、今日ほごの がにい、無持はしなかった。第一、 はい、無持はしなかった。第一、 はい、無持はしなかった。第一、 はい、無持はしなかった。第一、 はい、無持はしなかった。第一、

(85.

すで店員が立つて来た。

×田の山崎を呼び出し

フレンテリックの統自株あつて でいい引き締つた顔をしてあた。 のいい引き締つた顔をしてあた。 のいい引き締つた顔をしてあた。 が表現が素酸な美少年







車轉自の田宮

車轉自スエルア

其他各種部分品 大連市紀伊町七五

電話六五七八





幸長

新京特電七日發圖湯り

を避ばされ、井上神官は蓮みて被を敷き詰めた参道より境内に進 な避ばされ、鳥居内にて御手水行事

激の漢に明んだ やの人たちは左の通りで何れも感 が、一内において御奉選を差許された光

奉拜者は感激の涙

西渤海

漁區に

邦船進出を計る

有望漁區に滿人獨占を排し

人と令息令嬢、 5 参列の外國儀仗兵 東鄉元帥國葬畵報 3靈柩車を靜々と曳進する葬列、 る葬列、4 見送る大群 2 攀列の喪主彪氏夫 1 女武百官の攀拜、

【新京特園七日韓】歌喜と悠澈の「中に安ちかな夢路より醒めた 感激に充ちて

市山クイ(八十八歳)川戸啓四郎(八十一歳)山嶺セイ(七十郎(八十一歳)山嶺セイ(七十

なく諸人の獨占に委れてゐれ一次納等な産亡最近非常に有望、納等な産亡最近非常に有望、

連々さして数達なにぶらしてゐ しので、その方法も舊式幼稚で

匪首鵬飛を射殺

鄭營長まだもお手柄

多数の原圏な操縦し三十日日の一大日日の一大日日の一大日日の一大流流日軍の一

あつた
討伐軍に於いて捜査中のもの。

苦力宿舎を掠奪

同國練習經察海號(二千四百 | 権衛港(入港、帝國軍艦比叡)が東北まる一日威海衛を数 中な常天的日旗を艦岸に威威とため中端民國海軍代表王鵬 上させ六日午後六時折から盟民七日教國通』東郷元帥國郷 戦)は代表一行な門司より陸

狂喜した支那居留民 製を樹てた密原敷室三巻温敷を樹てた密原敷を掘った順首野蝦梅

とこした 画首 調飛の率 五キロの不服トンネル部所なし襲っ、更に一の呼戦來襲し、長続教授のほか備 キロ長谷川組苦力管舎に約二十名
五日午後十時ごろ熱河薬解線一六
一大田午前滿線建設局入電によれば

界から珍重されてゐる、なほ同日 氏は經對に揮毫しない人だけに斯 で三年が、りの製作である東洋城

お買上上絶好の機會…

お安い

値段で此

の良品

分間皆倫除さ交戦、 松根東洋城氏) 松根東洋城氏) 松根東洋城氏)

歡迎淨瑞璃會

、平藻前(三段目)松鳳(原住)、下藻前(三段目)湖東(地勝)、太功記(十段目)湖東(地勝)、合邦ケ辻(下の参)三栗(旭勝)、合邦ケ辻(下の参)三栗(旭勝) のを機さ を機さして同好相計の参加

股股遷座祭**大次** 時三十分から **遷座祭式次** 時三十分から 有ルハ第八回ノ級ニ付訂正ス有ルハ第八回ノ級ニ付訂正ス

日衣の勇

名來連

献戲、 **淑詞、御閉扉、祝詞、**

直に大江町分院に配った内地帰還を大江町分院に配った内地帰還とれて新京衛呼解院より凱の男性へを受け続したが前成多数の出班へを受け

六天気予報

午前六時二十分着列車で白衣

南西の風(晴)時々曇南西の風(晴)時々曇 南西の風(晴)時々曇

中央国加官

何千枚三七揃了店

火傷、痔疾等の良薬

十一日に變更軍樂隊の演奏

定さのこと

屋問旗

今日の小洋相場(時半)

無数置音樂堂において行はれてい ・ 大一日午後六時半より八時まで電 ・ ころ十一日に懸更された、即ち ・ ころ十一日に懸更された、即ち ・ ころ十一日に懸更された、即ち ・ ころ十一日に懸更された、即ち

るまつ

金百圓につき百廿五圓四十五錢

蓄音器の

修繕は

人戚本

滿洲日報(廣告部)電話三六九五番 候間此段御通知申上候と日午前五時四十五分自宅に於て死去致父重瑠儀豫で病氣療養中之處藥石効無く

して附値大投賣致します 常盤町社會館の植木はい 約六百點

テッサード四五レンズ・新コンパーシャツダー・舶来ケース付 ●社が犠牲的お値段で賣出されたもので現在内地定價の三分の一の驚く と品、瀟洒而も頗るスマートに出來 てゐてポケット用薄型カメラで御座 てゐてポケット用薄型カメラで御座 ので現在内地定價の三分の一の驚く (乾板瀬用) 部本京新部支天奉

大連定價金百五拾圓也

カメラの御撰釋は

、メラ名刺判

東鄉公園 設立を研究 實滿 愈々九日より始まる

期野球戦

·價麥帽子野球指定座席券付大賣

出

*スクエアにも比 で過過を交しつ・十一

長官局長ら恐懼感激

等であった。

の霊伝く垂れて、照つてはの首都は早朝よりごんより

宇垣總督暗殺

嫌疑者に新事實

勇敢な監視に救は

3

汐見町二李振伸の妻李楊

あすッたこまッで

い抱合心中

上品

甲来滋事作――夕陽な 関人は沙見町二時過ぎ消人女二人の變 署の取調べによる 記視中野鶴松(三) 君が 温視中野鶴松(三) 君が でも投げたの

九日より開催する本社主催の質満 東大野球部標監督河野安通志氏は 早大野球部標監督河野安通志氏は 早大野球部標監督河野安通志氏は

New Materials

というでは、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は、 、

出したもの)の三點、遊信 れ類模様、紅地には鳳凰

監視諸所前の水中に 女二人がかたく抱合 ◇志摩洋行 電話四三四六九

北陵參拜謝絕

道路工事のため

厚

隆上に引上げた、水上のなどころ、何分二てゐるところ、何分二 日に至る三日間一般参観者を眺絶した。 する旨滿州側より一般に公布

句・畵展覽と講演松根東洋城氏の

員俱樂部で催さ

で三年が、りの繁作である東洋域ので得意の筆を擁はれたものを選んで得意の筆を擁はれたもの

夏の服 品揃び 洋裝の夏の訪れに 備へて デルコにはシーズンに相應 こい新しい生地が多数入荷 致しましてっ 裁斷無料奉仕 生地もデルコ 仕立もデルコ DELCO 連鎖街

午後四時實業球場で 料である 「法曹閑話」を

御宮籤の御方

様は六月廿五日迄に會員章を御受取り願ひまず

河野安通志氏

東京七日養園通 | 末弘殿太郎博士の著書「宏楽職語」に成むる所述のありさして、國土暗墓門教校 第田歌師は六日東京被事場に管験で 第一歌師は六日東京被事場に管験で 第一歌師は六日東京被事場に管験で 第一歌師は六日東京被事場に管験で

百二十三名乗組んでかり、何心 方支那から軍艦の横渡港を訪れ たのは二十三年振り核変港を訪れ て、横渡在住支那居留民約二千 名は大喜びで七日午後山下町中 華會館に乗組將校連を招待する 貧田講師告發

8561 速 浪

8513 0

當籤番號發表 8172 8062

上がつて來る、苗賣りの呼び驚… 坂の下から、起閉な餘韻を引いて 000

田

忘

(128)

かり郷備が整って、その夜、只今 場の相綴に立てるさいふ……十つ ** 場の相綴に立てるさいふ……十つ ** 黒眼が流れてしまびはせのかさ 、かいでばかり居られては、今に は気の霰でなられよ。毎日々々あ なられる萩野様を、ごうで今夜の一なられる萩野様を、ごうで今夜の まで擦いでまるつて、正場がサノー産場、背低無機の三人のだらうさ、青木三た、小人をはせて、武場の三人のではない。

の道場には未練があるし、それにお蓮様にしたさころで、充分こ

蒲田の高杉早苗 5 0

松竹蒲田ラッキー・セヴンの美女・エム・ライタ、マーナー・コミッとなりでは「瀬田スタデオ版間のニューヨーク・タイムス社談者イ・ジェム・ライタ、マーナー・コミッと 歐洲に紹介さる

ヤケに重いぞ、この鎧櫃

日八月

するのも、この鏡櫃の前。 かいことになってある。 現代で 新しい人門者があって、現代で 新しい人門者があって、現代で

山口塗馬に赤砂地を 前だけは一人前の者い門弟が二人 前だけは一人前の者い門弟が二人 をの鑽艦い、滤波重いので、ピッ

若人に呼びかける

松岡氏の獅子吼

」・〇發聲「青年よ起て」

九日より映樂館で

で、小倉の袴をで、小倉の袴を 正面に置き マ々さ映画版画の看板にかくれて カりょくば更によい修成で満洲に カりょくば更によい修成で満洲に する映画の記録がおそとの縁見で來滿 する映画の記録がおそとの縁見で來滿 です」させいひながら來て見て いたらう人現在の誤話でイシまはら れては満洲の映画業者はウカバレ 会これで日本の三大歌歌會試院 の滿洲視察が完了——?——する の滿洲視察が完了——?——する の滿洲視察が完了——?——する の滿洲視察が完了——?——する の滿洲視察が完了——?——する の滿洲視察が完了——?——する AN 前後して來滿し

るのだらうさ、青木三左衛門、山州のまり

かれずまいさな

紫彩部長、日話

スラグダ・ひ奪た氣人のシリプツヤチらがなりあて畵漫の卷一たツタ 。すて得見目おの初の。**高漫色彩極**るれば言さた。自風を撃名の と透見おてし跡を品速の代稿ためとせ知識なポルガルとツリトーイテ

MG

满

で、その披露をする座にも、その が、その披露をする座にも、その

て、分別縫。 こし年をさつてなります。機震

無論今日は、相模披裳の式に土蔵にしまつてあります

れんから、こさによると多少は難のか。 具足が這入つてなるかも知

(日曜金)

幸促

B

→ 天狗の安 ◇ 下狗の安 ◇ 下狗の安 ◇ 下狗の安 ◇ 下

作家能力量を 徹底(異に前の々人き高れが他のへ繋さ山或に雪温大る際に地天と(歳! !然快味の砂糖 きなのでなに肌山の銀白なた境に日旭又は ! 寸動情報は美ロラメカ

百

「よし来た。しかし、何だな、 地生は、やつさ本願か達したさい ふものだな。え、馬鹿を見たのは あの伊賀の暴れん状だよ。線の教 でかけばまになる、こけ髪の茶 でかけばまになる。こけ髪の茶 の乗り込んで、立派に見得を切つ

天晴れ村田監督

作『霧笛

香り高き文藝作品

村田賞監管近来の力低「霧底」を大阪襲日、東京日日に連続し、知意に乗しまる。「霧筋」は大佛次郎氏が大阪襲日、東京日日に連続し、知意を表するで、これが新東キネマの発撃大保さして村田賞をかがメガネンをさり、静脉脈一郎のサイメラ、中野英治浅流で暖酷化

前篇で素晴らしい蛇鮃な博した日前篇で素晴らしい蛇鮃な博した日 主題歌 時前後篇同時上映 中村武羅夫原作 大田市夏夏鈴 レコード吹込 子美代郎江明

一演 共



朝日屋商店 進又 躍 返品返金自由 進

猛猪の如くにして併も猪突的ならず 蚊軍を一擧に屠るその偉効を見 世界五十余ケ國を席圏する 輸出數字が物語る の効果その 信用

ーキートルーオ 作原氏風李友行 演主郎二長 林 子澄保久水 子道 川及 子 東理雲八 演出別特●

田中絹代・岡譲二・川崎弘子・江川本邦最初の試み新形式サウンド版。本邦最初の試み新形式サウンド版。本邦最初の大原作主婦之野村

·古带道

貝

9

ĦΔ

塚

電話 7543 4379

社會式株藥資本日 店運代洲護

切

機能遇到河號市建大

(三重ゼンマイ取付)

五十五円

1月 日龍正宗

性能を持つ

二二號

男門 穴院随島

造裝徽盛花 飾 花品章花環

時代連續大映畵 金美 花は 電二二〇六〇番

H

お家庭にも

御散足に



青年が起す 10オールト 大獅子吼篇――

八日一日公開

村田實監督の大名簿

金井勝· 笛演

衣笠淳子主演

誠忠赤穗浪士銘々 中野英治·森 頂 靜子全演 作の一 開公別特り限日 一日八明



級

西



瀕死の

白銀

關係に立つ國

西班牙の如く銀保有

を目論んでゐるのであるが、

大連貿易公所

小規模に立案變更

近く關係者ご協議

前年の歐洲的情無に對さ、今年は 前年の歐洲的情無に對さ、今年は 前年の歐洲的情無に對き、一年的 る、豆油に確立の歌唱を派して居る。 に代つて需要の印盤さを流して居る。 に代つて需要の印盤さを流してる な、豆油に確立の歌唱を派し、硫安 に代って需要の印盤さを流してる を、豆油に発き歐洲向であるが、 る、豆油に発き、大田本的のみ な、豆油に発き、大田本的のみ な、豆油、

日

増加を示し、殊に歐洲 歐洲向で一萬四千

滿洲見本市

出品最後打合會

は四月上旬に融けられて以来、数 を製造金を強けてゐたが、大性意見の を製造金を強けてゐたが、大性意見を を製造金を強けてゐたが、大性意見を を製造金を強けてゐたが、大性。 を製造金を強けてゐたが、大性。 を製造金を強いて無話にわたる研 を製造金を強いて無話にわたる研 を製造金を開き山西委員会内に の基本を設定を表した。この委員會の の基本を設定を表した。この委員會の を製造金を設定した。この委員を の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しました。 の上でで変しまた。 の上でで変しまた。 の上でで変しまた。 の上でで変しまた。 の上でで変しまた。 にあまり下で表する。 を製造を のとした。 にあまり、 にもなり、 にもなり、

計、玩具、理 帽子、洋愈、 類具、袋物類

一議は七月さなる機様である、右に 変を在なので、本問題に関する重役会 である。

人氣引

産

况

各方面の群少見本市を始め京都、神月なごもう一つ聊か時機が連れ氣味であるさいふこさも多少原因になってあるさいふこさも多少原因になってあるだらう、出品内容は前年と大差ないが蓄管機の著ると単さ大差ないが蓄管機の著ると中世上をと下事が目立つてゐる

鞍山鋼材會社

輸出商品展示會

大同殖

日創立總會 產會社

計で記事権が急ぎつ 計で準備を急ぎつ 計で準備を急ぎつ

盛大に創立總倉

五月中輸出特產各品共增加

满

爲替關係で

滿蒙輸組聯合會

創立委員會

滿鐵商事會社計畫

七日最後委員會開催

近く正副總裁に報告

製品賣行好轉

東京六日登園通』消薬輸出組合 部に解立を設合を開きその解立な 部に解立を設合を開きその解立な で決直に離立大臣に認可申請の手

粕は五萬二千二百十六随增、

五十六連増と一番

THE IN

子專務談

第二グループの國と緊密 エチオピアの

銀價吊上な見越して開始されて

世界的銀價の上には一向も議會通過をみたのであ

復活の踊は未だし た診断するに對して世界的に関係な治療が難事させられるでも 一體何故に「瀕死の白銀」 落に依る一般物質の騰貴か以て を策してゐるが、第二グルー 此四者は各自その利害を異にし

は第一さ同じく銀高に依つて曹

五月中輸入麥粉

日本粉が八割

語る。港秀港丸にて陸連したが左の如く

歐洲仕向大豆

數量では憂慮不要

左の如じ、單位子袋) 仕出地別 数量 日本粉 七九五 上 漆洲粉 二〇三 一 米加粉

商狀は先づ一服の態

二〇. 百分四六比

アマラル氏は六日 使を訪問、過程 の内容等を詳細 の内容等を詳細 の内容等を詳細 にして記さされた。

黄

海外銀塊高で

北渡定期の前場寄は大株二十錢高、十錢安、引は保合、東京短期の新上東四十錢高、日産四十錢高を入れの電市は五品、新豆共保合、甲原二の場市は五品、新豆共保合、甲原二の場合であった。

が小戻す、アメリカ政府は銀法案 の事あらば撤回する主撃明とたこ の事あらば撤回する主撃明とたこ

海標金

鈔票小聢り

0

工業免許能度研究 発許制: 研究の

の一)で軸込金は一株五圓で搬表 された、図に創立委員長は五十島 小太郎氏である 銀行營業繼續 申請受理八十 もので銀行法第一條に規

て現在一服状態

第七千袋と減少を示してゐる カラ東の約百萬袋を割つて七十五

駐 にあるのではない 然から今後の様場 いちつくない様子

制限令修正斡旋方約束 六日廣田外相を訪問

大 この金融を保事に就て管際的研究 たまげる时で山成副總裁の事質上 がまける时で山成副總裁の事質上 鮮取株主總會

東京城舎」
東美野の定時株主総会を 中五日九年上期の定時株主総会を 開くが今期に役割を部任期満了で 開くが今期に役割を部任期満了で

中小商

神戸期米

映画寫內

第二回第二回

大新東新 (1210 15240

ロより封切 職腸の好番

況實。葬國帥元鄉東

比島、中米を繋ぐ

定期航路を開始

日本郵船が中米航路へ飛躍

排日貨終熄して

重慶航路復

九日雲陽丸上

機小しては下臓像方廊に自示意見が及めてぬた大連市役所影響との大連が破めて小規模なものにである人の一般の大連が大連市役所影響との大連が大連市役所影響との大連が大連市役所影響との大連が大連市役所影響との大連

現して見よう。 現して見よう

株式公募

開催準備進捗 七月二日から公會堂で

選任、代表取締役、定数承認の件、

会會堂において大規模に開催された。 新京貿易館分館宛て勤誘方を依頼。 新京貿易館分館宛て勤誘方を依頼。

中銀東京

上海出帆 ・電影響、二十日戦間地 電影響、二十日戦間地 電影響、二十日戦間地 電影響、二十日戦間地 温保(愛込三六七) 三六八〇 大豆(裸物 出来高 百二十七 出来高 百二十七

世 出来高 百二十車 出来高 百二十車 出来高 一二六五 日 推 八三六 一二六五 日 本高 八萬枚 日 本高 八三枚 日 本高 八三枚 日 本高 八三枚 日 本高 八三枚 日 本高 二十五百箱 日 本高 二十五百箱

内地變らず

合開 散

料階金下





中央

館

青春の夢いまいづこ 田中絹代の 田中絹代の 田中絹代の 田中絹代の

○六日より公開

回井

小津安二郎監督の藝術映画を上売五郎で坂東橋之助の英雄東郷平八郎と上売五郎で坂東橋之助の

哈爾狼

商計

本日の番組

ジャックと豆の土 ジャックと豆の土 山岳映画の最高峰 正 日活 七日公開 料金 階階上下 七五十十 館

小の太陽前 水水 の 太陽前 が の 大陽前

乤

國館

土木一六、大同

会は亡き世界的偉人の面影を護國の 東郷平八

期(單位十段)

吾

銀 三元的教 《六八七·四月 金 二、克克教 《六八七·四月 金 二、克克教 《六八七·四月 日

1110年、日の大側

再中絹代・江川宇禮男主演 春 の夢いまいづる

100九元七 100九元七

是非御一見下さい 強と人氣の中 一見下さい で、街で

上榮五郎・坂東橋之助・林敏夫槍さび懸慕

七日は四日間上端市田特作番を続はずか大月方傳・差別巻子ま

常盤 -7 座

(可認物便郵程三第)

電点の綜合的事務所乃至小 では、 では主要各



「ロルんさしてあるさのパリよりの 、米の間に何かの事前誤解が行 英、米の間に何かの事前誤解が行

佛ど伊

既を正式に否定してタリ

英ピ米

悟である」を語つた ついあり、或は近く何等かの誤解 さるべき事な別はこれを否定し「米國は全く衛立 焼 瞬國間に何等かの折慮が行はれ 大使を通じて併れば、 はこれを否定し「米國は全く衛立 焼きれる等にがこれに関しては佛 関始されてもそので

に達する模

はこの

上げ準備

の公電があつた、何ほ自務省は

首相遂に挂冠を觀念

新聞報道に難し六日ハル國務長官「備指解は近くロンドンを中心に開ばれんさしてゐるさのパリよりの」『ローマ六日養國通』海軍軍線康

豫備會商促進を

御召列車新京驛御着

「車中は秩父宮殿下、

東京七日登園通一米國はノーマ るの歌からではいて英國幅で海軍歌・一大日ロンド 中郡、ウイルキンス中佐が整門委 マルキンス中佐が整門委 では、カイルキンス中佐が整門委 では、カースの で

米間の優先的課業は大

一部延少特外一名

當局、松平大使に訓電

レーヤ大将外三名 単原では日安國道 『東京七日安國道

政友結束論擡頭

電然だ▲俳し常然なこさを常然と のは整飾者の神経である▲感謝する法、そあれ、少しく文句をいふ でき駆はない、問題にしないのは である人の書

黨內事情で成否疑問

海相官邸

招將

報

(日曜金)

文化工作に大なる機能を傾けつい

羅海軍部へ

軍狀報告を御聽取

・ 一局は対照にその他の動称者は対 ・ 、 殿下には小様印令官の御先導 ・ 、殿下には小様印令官の御先導 ・ 、殿下には小様印令官の御先導 ・ 、殿下には小様印令官の御先導

が 分小林司会官以下全員の奉送を受けさせられた 神師に随ばせられた 神師に向ばせられた。 一使館に向ばせられた。 一使館に向ばせられた。 一使館に向ばせられた。 一位館に向ばせられた。 一位館に向ばせられた。 一位館に向ばせられた。 一位館に向ばせられた。

鉄父宮殿下九日の南行事左の御豫定にあらせらる。 新京特電七日發』 関東軍司令部發 午前十時 御旅館御養國都建設狀況御視祭

關東軍司令部

公式、豫備會商

公式の前の前哨戰開始さる

台定する本國政府

にて公宅にお成り遊ばされ即合信にて公宅にお成り遊ばされ即合信

ある此のスタッフ

軍司命部に成らせられ、

司令官單獨謁を賜ふ

社報日洲滿蘇 久保田製版所

貴賓を抑

りて

で使命最も重大なる 御滯京の秩父國賓宮殿下 日を過させ給ふ 日本官衙台臨を仰ぐ

ヤマトホテルに於て ・ 本マトホテルに於て ・ 本マトホテルに於て ・ 本マトホテルに於て ・ 本で、 本で、 一の際につき起立のも ・ なが、 一の際につき起立のも ・ なが、 一の際につき起立のも ・ なが、 一の際につき起立のも

な、同七時十五分線に選手した。 同七時十五分線には一番では、同七時十五分線にで、同七時十五分線にでいる。同七時十五分線にでは、同七時十分御齢者、同七時十分御齢者、日本標道の東亜門等には置か続くる暗空に

中央の

奉迎塔、中央通

顔ぶれ

無船渡來に鎖國の夢を破られ 「無船渡來に鎖國の夢を破られ 「無船渡來に鎖國の夢を破られ

身を以て

綴られ

た斯界

権威者たる

盤牧野伸

秋月左都夫

種の厭がらせ

マトホテル

ふ晩餐會

朝日新聞社編

百餘頁・總布裝・兩入美本 四六判・口繪八頁・記事二

定價一圓二十錢

を避けせられしに能らず些の御波等の御模様中午餐館刊出席、新京村町の郷地の郷理等河市暇らなき御日程の出たくだらせられ、織いて駅鐵皇帝陛下の御答禮、宮瀬湖園皇帝に野する御観書河郷冬、歌歌御賦進の御覧を 《新京特電七日發》 御名代宮殿下には七日

車司令部 せず益々御機嫌麗しくあらせら

御使命の最も重要なる一日を過ごさな神使命の最も重要なる一日を過ごさ率迎晩餐會に成らせられ、此に今回のに成らせられ、夕刻より鄭國務總理主催の機遇過數段後以更に騰東東記令部、駐滿海軍部、大使館を以下、大使館

ないは をできる、 軍版の下に 変別の下に 変別が 変別が でいば、 をできる、 軍版のでに 変別が 変別が でいば、 でいば、 をできる、 軍版のでで、 変別が でいば、 でい 殿下を御家自列立邦部

変術大粉は、司令部階上の御依証 は軍司令電空に於て軍司令電に軍 令部御出襲あらせらる 御路車遊ばすのなお待ち申上げた | 繁に御家古申上げ御少越後敷下に | の審選書に御車は三時三十分軍司 等官及在常民代表等四十七名が整 れより先き同大使館支閥前廣場

では殿下に對しを巡の赤誠を披瀝館を大橋電七日餐」奉天總領事館

するため各種の献上品取扱方につ ・日本人は献上品の目録な機領 ・日本人は献上品の目録な機領

日御行事

一、何れも目録の書式は一定も居 時である不敬に亘らざる様注意 らざるも不敬に亘らざる様注意

で 大すもの さ認める場合は 取扱は す 大でもの さ認める場合は 取扱は たる場合も 取扱は たる場合も 取扱は たる場合も 取扱は

會した に放元帥の像功を辨へ午後二時能 を動する旨の無重な挟縛を述べ后

はつた。はいたき各國司令官は、他により先き各國司令官は、他により先き各國司令官は、他により先き各國司令官は、他により先き各國司令官は、他により先き各國司令官は、他により先きを持ち、他により先きを持ち、 展東京七日養國通」は下端所に関する決議を続じて我國の野外貿易の世界修進出 では我國の野外貿易の世界修進出 する決議を提出その他何等かの防 は、最低電鐵地に関い が変を続いて我國の野外貿易の世界修進出 では我國の野外貿易の世界修進出 では我國の野外貿易の世界修進出 では我國の野外貿易の世界修進出

かは知られが、先方では数分線の 報には思つてゐるらしい本所で驚 報明上の修正彩を出した人日本歌 がは知られば、先方では数分線の を成都の一人カルネイロ氏、ごうも では、こうも では、こうも では、こうも では、こうも

法通過は遺憾 大概を訴し ・移民職職 に遺憾 に強へのでこ 外交受難の跡を顧非常時局に際して み先達の士が如何 冉讀三讀して 當られしかを見より に身を以て國難に 再思三考あれ!!

に偉大なる足跡を殘さ

た諸氏の豊富なる體

せる重要文獻です。

論あり、

その間挿話あり、

日本外交史上

産 重に限局せず、現下の 質狀に照應して將來の をも示すもの。

列奉型し、殿下には郷郷準の御繋 が二百餘名で、ホテル或闘前に整 に成らせられたが、此のダ御際席 に成らせられたが、此のダ御際席 て諸兵離職神に大食堂に入り所定、株式部長官以下騰良の入場に織い の御召自動車にて午後四時五十の御召自動車にて午後四時五十 (新京特電七日**愛**) にして君ケ代の奏 れつ、御着席、 基いよく〜 鞏固な加へ東洋水能行と即位大典を無事終了と國際流元年三月か以て帝國帝制な 奉迎の 奉迎の 乗るり、繁悲には、 変したが変に、 大食堂に、 には、 変したが変に、 ででいる。 ででいる。 ででは、 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 | 東連の鮮へ要 を述べ、杯を

平和

に寄與するか得し

帝國の帝制施行令上登極な慶祝 歌響何ぞこれに過ぎん、我等官 歌響何ぞこれに過ぎん、我等官

には黄天皇陛下の御名代さしてには黄天皇陛下の御名代さして、ことを祈りたる所今般繋下でして帝國官民の深く悠佩し居常貴我兩國の國交益々敦厚を加ば黄皇室を初め奉り貴國朝野のは黄皇室を初め奉り貴國朝野の

永久

の感銘さた以て御

とく殷下の御健康を祝し奉る御繁榮さ國運の隆昌を祈り恭々迎へ奉り並に謹みて賞國皇室の

人農民入滿

大使館 事務所に御養、 使館御 訪問 過ぎ御旅館

大場警務顧問 大場等務顧問 拝謁場に入 居留民會長等四十二名に謁を

賜って後再び大使の御

実内にて大使室に潤小熱後年後五 御鮮選遊げされた 御鮮選遊げされた 献上品取扱通達

1、スク援河に居住せる際人の農夫 ・ 大四家族六十九名は最近在滿支那 ・ 大四家族六十九名は最近在滿支那 ・ 大の通信により樂土に幟れ伊國を 要て、三河地方に移住を決心し入 ・ に見切りをつけて來滿したものさ ・ に見切りをつけて來滿したものさ

勞働會議 プラジルのア

世記 六日愛行本紙號外及び 七日附本紙朝刊第一面所載六日秋 父宮殿下新京師到着に際に渡洲園 民に對し後し給うたメツセージの ちて厚疏な得たる賞師各位」とあるは「安蔵か得たる賞師各位」との誤りにつき護みて訂正す

れた一大秘錄であります。 論談せられ、或は特に寄せら の諸氏が親しく一堂に會して

幣原喜重郎

石井菊次郎

松井慶四郎

田養物價指數一七六、二前月より四厘物價消數一七六、二前月より四厘物價指數一七六、二前月より四厘

書店朝日新聞 !る成覇制的對絕の界斯 式ラメカヒサアてしご々宿や今 引伸を利用する 人僚寫眞の撮影 東京丸の内 スピード時代にスピード感の横溢 大阪中の 其他記事寫眞滿載 ·定價八十錢

取次店にあり Ħ 發 に對して宗教の話した為丁事、

関連商の關係は遠く三百年

徳川氏の鎖國時代から特別

である。徳川比が一般外國に對扱びの下に繼續されて來たもの

◆それから市中における昨今の職 音は何うだ、車馬の如き交通の でである。 では何うだ、車馬の如き交通の

上から見て 思ふ。 思ふ。 思ふ。

用紙差替自在・緩穴の切れない

300頁一册¥2。30 送料¥0。33

內鮮滿臺有名文具紙店及デパートに有

發電元 大阪市東區平野町二丁目 株式会社 稲井 商店

ワシマ小兒

科

まる俗談や、混花節の放送振りして忍ぶ事も出来様が、卑猥懦

東京の大震火災

極めて緊要な

期

期

期

あ

の年で、

あの元氣

ナ

ル

程

12

東 計 内 科 医院

战構·音質·

分離受信.

体裁·萬點·

普級品 4章

¥36.0019

8年至190,00まで

各球式有り

所張凹天奉

地凿五町茂加天奉 举七四四五話军 様が、卑猥し

決議かみの社団隊がは百三十六萬百八十萬國こなり、株主總会募集

个後社債を募集するた

建築と騒音

潤ひのある生活地さし

對してのみ之を許し、長崎を

張り和闡の通商根據地はバタ

毒瓦斯に備へる

避難所と其設備

避難者の注意事項

ない。今度の會商は此の親點

第三次 三 同上 同上 八年第三次 三 同上 三年 二年第三次 三 同上 三年 八年第三次 三 同上 三年 八年第三次 三 同上 三年 八年第三次 三 同上 三年 八年

の結果既發行總額は四億二千

◆昨今市中に盛んに建築か行にれ

るのが間違つて居る、ハリ ・ 職住宅地にアパートなど する様な資本彩もある。

などな作

なごでは年收何干以上さか何萬

◆僕は西廣地

反動であるが住宅地に住宅地と をを作る事を許されて住宅地に邸 とな作る事を許されていつてる

型に僕のために私 れがために私

强

含

市の繁榮上から言つ

他の為に闘る事が真に人間の一

築しお隣りの邸宅な無來苦茶に

條約の最惠國條数の精神によ牴 で、非友誼的さも見られ、通商

本商人な排斥せんさす

る腹がある、仍で参へついたのが 特ない。若し此の問題の責任を取 ちぬこさになるさ大變なこさにな を取ってはなるで大變なことにな がある、仍で参へついたのが

新社債二億圓

山本男

に於いて一億国の起儀許可を後當一に於いて一億国の起儀許可を後當。

くものと見られて居る。一緒を見る上より結局二億國に落つ

議案總會提出

北支の観察を了へ上海に入る何

運賃値下げ

保合開散

後場市況全

仙波代議士より

發行力保留認可申請

の收極さ 認識なを得たるここを整 の収極さ 認識なを得たるここを整 の収極さ 認識なを得たるここを整 の収極さ 認識なを得たるここを整 の収極さ 認識なを得たるここを整 の収極さ 認識なを得たるここを整 の収極を 記述なるが、 変人多数で様常突込んで 思い切 変人多数で 様常突込んで 思い切

過去一箇年間に一億六千萬圓の起

回数金額利率据置價運

取纏め一括有蓋単に積減して運送」の長さ、客観等が特に大なるもの。しこれに運送後來溝澱の小口扱資物は幾口分も一才るのが建前であるが、貨物一個「車さして無蓋」ために一週又に

Joy of the Tasto

各

國酒

食料品

五四

錢錢

Ŧi.

S

不用品 交 換

中

濶大貨物に對して

でも事件はまだ進展する機様に、 大概電方臓は此の程度で滑むさし 大概電方臓は此の程度で滑むさし その結果は某々前大官の身上に及 るのに、かうなれば、総社 は、ここ必定で、かうなれば、総社

ば高橋離れてけた戦し後氏を補充。 大脳名縁なか此の程度で済むなら

に至りては全く滑稽で八十五歳 の老業が出もせれば出られもせ の老業が出もせれば出られもせ の大人であるから問題になられ 人だ人であるから問題になられ 人で人で世界に出して若し傷で もついたら公一人ではない一家 でき人で政界に出して若し傷で

での音楽演奏時代である、聞けば 本筋がやないか、その點で平潤男 な有力な候補者だが更に内珠方廊 た見るに大盛着から細付き九出す

数か占むるので蘭商が困る。

【東京特麗七日韓』元老国臣方 面の消息に通ぜる某貴族院議員 成代左の如く語る

方との爲めに日貨の輸入甚だ

軍部の動きを見て右往左往

凱歌はどこに揚る

清浦伯

から軍部の原む者を持つて来て次 な歌解の出来ることは難物である な歌解の出来ることは難物である

國品が噴れる絵地があるさいふば、臘商はそれだけ利益し廟本 ものが今度の會商の相手である から日本の代表は頗る困難な地 位に立つここなを関悟しなくては ならね。唯々、双方が、従来の歴 ならね。唯々、双方が、従来の歴 利益な考ふることによって、

日蘭

說

会たるはいふまでもない。問題

出發點 會 商

いが、代表の努力によりて圓流 いが、代表の努力によりて圓流 はあるまい。紆餘曲折は境れま なる解決か見んここな望まざる

鈔

保合

平沼男 は第二の世界というない。ないさいよかりというない。 り得るに恰當い 政院新か楽一に

典田

使満 ル

中央亨で 央亭にて

して一〇、〇〇 他この種貨物と 他この種貨物と

400至0

店商井

生徒募集

近江町二西廣場映雑館は

日本各地名産

备九四六五話零

酒清

〇四、九〇

九三、八五〇六、四〇

理料御

△梅 一園五十錢(五亩) △ケ 二 國(七亩) △外に一品料理はお好に應じます △別百九歳(九亩) 一大田 二十五銭 一本二十五銭

特に本年は東京より腕利の料理人を招聘致しましたはエールー本三十五銭

△御同伴には **△御家族連れには** ▲御宴會には

静かな美宝

虎

町支店

代御客様方の皆味

0

晚翠御案內

ゆび一切其外切傷腫物

時計店

綿糸

續騰

棒狀一分計 1圓50錢 東京日本橋區本町四

發賣元 淺井合名會社

値

兩切タ コ

廿本入三十錢を廿五錢に値下 例例

コ店に有

年は製品工業國である。日本の 品が欄印居住民の嗜好に適す

印は元來原料生産地であり、日ちず、今日にありて見るも、蘭斯憶な歴史的関係あるのみな

西洋諸國に對抗する素地な作り

及び総要に低するものであって、 ・整備し整確者の出入指導、保領 ・機能の関連所管地所は基礎所

大性ガス南部材料、噴蹄器、渡路器、 なつてゐる、また本郎では助器 時性及び持 皮膚消毒無、薬防被服等の防毒消 もの、なほがス用診臓所又は一時 もの、なほがス用診臓所又は一時 一方を注意導頭を組むしむべき者に動

がに登火の成める物品の携行は 禁する の携行品を消毒されたる者及びそ 管材などを速かに調整管理配給す 散止み平時状態 方面のこさない 配置し又材料の の配給ななし、 が料の防火

○現 物(銀柱) 大豆(株物 出來高 百車 出來高 百車

電気蓄音機 (ラデオ景用) 4 幹組込 平 190,00m リ 8 幹組込

₹ 285,00 ₹7

U

各球式有力

最新式·

優秀品

七較卸試験

元

種在庫豐

夏物變白生地豐富着荷

別染は専門

の大紅

なほ旅順第一小學校では六日午後

午前九時以前に

本年から自發的制限

関して出たが関境 ・ では、 、 では、 ・ では、 、 では

下盤が磁盤の手で低速な微さつ、 下盤が磁盤の手で低速な微さつ、 あるが、之れが完了後は直に壊水 本身中倒アール脱きの壁のに至る であらう、因に本年入場料は開場

致し市民にこれが

てゐるが 国軍の障容を見るに撫順チーム は依然養態を持續と居り、これ に反もて本天チームは各種目に 多数の新手選手を加へ一般さ整 備してゐるので恐らく撫順軍は 終始防禦戦に追ばれるものさ見

歌いラデオを公践する計畫をたて 駅にラデオを公践する計畫をたて

自数的意志に限してれ以後

なった調である

四平街ブール

した國産金額は、九十六萬六千一

しの護いばかりで閉口し、

滿州國中央銀行が今日まで購入

それか見れば

米る十日(日曜)梨生徒全部に分配 毎月の豫

白玉山も不夜城化

華やかな祭典風景

けふ旅順白玉山本祭

版市民の間に問題されてある。 は報音でない點はこれに数してもこれに 自動車による話しておいても さは報音でない點 さは報音でない點 では報音でない點 では報音でない點 では報音でない點 ではまる話しました。 ではまる話した。 ではまる話した。 ではまる話した。 ではまる話した。 ではまる話した。 ではまる話した。 ではまる話した。 でする。 でする

6合理能方法を以て當つて居るが 一番大 銀路線局自動車運輸に最

神 修 費 七、〇 一四% 計 四九、一 一〇〇% 四質質却費 一、一 二三% 四九、一 一〇〇%

り六月十五日迄

収支好轉に努む

總局自動車

には時間に自動め各自の心身種磨された。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のではないて のでは、 のではないて のでは、 のではないて のでは、 のではないて のでは、 のではないて のでは、 のではないて のでは、 の

採算不利に惱む現狀

京では明治神宮の神々しさにが小林園長は語る

に於いて熊鹿式な行ふ

始め大變な賑やかさであ

たが驟頭には約二百名の際員が

病

内地の日本

は親切

止義團訪日團の感想

日本人

ハより

一英姿を拜り



沿線各地奉拜者の群 瓦房店 夜米の碌らカラ

不潔になら口様注意の立札を建

大奥物観覧大運動会は愈々八日萬に崇られ返駒に延駒を重れた敷配 りさて豪雨の場合

天鎮に鑑み決行の場合は八日の早な得めので常事者に昨今の不順な

訓友誌を發行し

心身練磨を圖る

四平街靑訓の決議

だ少く叉大連に於けるものと満洲 経際敬支の嫉輕が馴然されて安であるが纏展としては突通風未 昼自動圧線の便命其の他より

で總局のものに比して驚くべき格の%

七〇%な占め間接網費が三

雜原價價却費 原價價却費 出

四〇三一二二二四五七〇

白圓な旅順防護側の基金へ寄附

撫順に常識涵養委員會

灰礦讀本を發行

院た見て居ない、又率古線水康 であて居り今の所列車運行に支 地域路從事員總出動防水につ 百及鐵路從事員總出動防水につ 百及鐵路從事員總出動防水につ であて居り今の所列車運行に接る 経家店間の堤が決潰四尺に餘る 経家店間の堤が決潰四尺に餘る

配局、緊張警戒

一八、三八一トン貯炭六、五六九トンニ六、二十〇トン貯炭六、五六九トンニ六、三一○トン排出 【撫順】 撫順炭騰において取扱つてゐる煙底、南獣、仍子山、焼子 第及び老職溝の五月中における受 療成織は左の如くて需用期一巡の あさなうけたさはいへ頗る好調を あさなうけたさは、へ頗る好調を 三八一トン貯炭六、五六

w前ドイツへは大豆・ビー を終う総価事は で、変松、土方所は良の質問に

は一手萬圓でか入

貴院議員座談會申

自殺か他殺か

通譯の怪死

つ連續頭の株式會社の田洋行は本 紫線を削する一支具度を削身に持 せ

さいやかな交具店を開業したので

僅か二千風白外の資上げもかなか、常時はお話にならね程で月 つたのですが、戦父は一意撃心不僅か二千圓白外の資上げしかなか

發展ごその現狀

関係者多数米食盛大なる説明を 第に大阪本店は寳家ホテルに於て

節の努力を續け戦後滿洲の課数の

年を以て創立二十五周年を迎へ、

げたが、當大連支庇では當地點聚一點今日資本金三十萬國の会社とな關係為多數來會處大なる職販を擊一爲にの億念のもこに勢力された綜

康平縣公署の金氏

学けることはないか 生産されないこ見られて居り、 中産されないこ見られて居り、 中等心配するに常らない、水田 の可耕地は限られて居る、只多 く産する様になつて米の値が安 くなれば満洲人もごと/く食用

学校の贈典、金一封

長内田恵民氏を司会

勝館に指待して、

者數十名な老虎瀬子

なる大殿質會を舉行

續いて宛天支店、新

共の他を社員に記念

六道溝に匪賊 何ほ 1、日露眼後後

後く、滿州開發

人會聯合運動會

各違つた郷土色を織出さうこ

奉天で初めての運動會

行 会社業務の党進と共存共党國家室 で 仕の念願を以て、慰後の諸洲開發 に努力した為、一般の狩評を得て に努力した為、一般の狩評を得て に努力した為、一般の狩評を得る は、

大学年会主催)十七日演士運動 | 一段の政治を得て | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | って善風して来ました。

動無を来たしたが、大連車分けの内鮮をを来たしたが、大連車分けの内

が聞かおし まで向上進歩な職る では、尚は一層の

である。

もので、大連市の製版史上に答興

る處义大きく真に慶賀すべき事

五年に至り株式會社の組織を為し 天、新京に支店を設置し、

ス存上問題か多 、満洲は三千 のではない

ばなるまい、

| 獨立國である | 線を述べた、次に滿洲特産の事にては日満藤工 さ述べ小包郵便の際税に至った総 さ述べ小包郵便の際税に至った総 関の間にトラブルが類出するこ

撫順炭受拂

き 大日午前一時一廳本署に引掛げた を 事際が現場に膨終を認めず空しく 大日午前一時一廳本署に引掛げた を 事際が現場に膨終を認めず空しく 大田午前一時一廳本署に引掛げた を 事際が現場に膨終を認めず空しく 大田午前一時一廳本署に引掛げた の 投資

從業員も百餘名を擁し替業の

様になりました。 の一所に交其製を開いた事は、 洲の養展を見透し、廣漠たる瀟洲 脱父は二十五年前既に今日の滅

居し、支店を開き構能なる神鑑を 込んで、露店に盛らい借小室に起 收めましたが、この支店設置のた たが、常に殿父は努力主英師に依 殊に背島階落した時、機至れり

られ、今日の基礎を築き得たのご め大阪の仕入部が同業者間に認め

强固なる自田洋行さなつたもので し最も有利に基礎づけられ、結べ 時宜を得たもので、わが雲界に あの大震災の直後東京進出は最

歴 これも一重に全微素取の努力と酸 での物楽方針が宜しき傷と常に感 て微楽丘一同と協力、尚ほ一層の此の楽務に野して、登標神を傾け 私は真に微水ですが、残された

大正十

の土地でもあり十日この記念すべ されて居ます、四月には盛大に大阪本店は叔父様さ弟さに依り

満は小麥代作 奉天にて 農業恐慌對策が論ぜられた は

連日の降雨 小被害 鐵路網 古現る のため

社員の常識涵養

| 重れてるたがやうやくるの大概な | 磯の丞 歴 に 重り様とて本年度の雲行 | 縦頭で食がない | 運動委員会を設け | 運動委員会を設け | 上海の | 一般立するに至った、

極く平易に所謂を

漁船十六隻呑まる

朝鮮黄海岸に颱風

奉撫陸上競技會

當局連日の大捜

世は 技大会が十日午後一時から撫耶永 (生は 技大会が十日午後一時から撫耶永 (本に 成織を残らして居り本年度 が、昨年無殿軍は三腑五版の気し が、昨年無人できると 一般はこのホームグラウンドで雪軽し はは、大人一個五十錢、一院立子 き 撫順軍の雪辱成るか 職が、大人一個五十錢、一順食子 まー(w)の運転する詩パスの前方 本来天第二師範舉校生徒六一名六を横切らんさした北市場邦人經營 日来盛即日離底 は然底が底が底でまった。 日来盛即日離底 日来盛即日離底 日来盛即日離底 日来 (本)の運転する詩パスの前方 本来天第二師範學校生徒六一名六年 (本)の運転する詩パスの前方 本来天第二師範學校生徒六一名六年 (本)のまり (本)の主義 (本)のまり (本)のま | 奉天||五日

運轉手ドロン

○銀額日満學生聯合大典記念運動の 会 七日率行譲定のさころ雨の ため十三日以後日を改めて舉行 に決定

動の散選は少しの不振を見せず、加動の散選は少しの不振を見せず、加

技術 探走中のコロダノフス 特権 日午後一時半頃大東區

沿線往來

城は大阪に本店を東京、大連、奉其の其礎は経々强励さなり繁業區

はし、全国主要 戦務市では、「て國道工庫に動かせるといふ。」 諸洲國交通部「工程隊を総制し、國道局と職称し く且つ速かに 塞天省の湊陽駅公署では、考究の悪病到来の時間になったので、 0

記さにも、二十日より変施する。 いて逃憾。 いて逃憾。 か、り見下無無でドイツ無院に入す に立ち、自力で一生自由に暴した き

を大き風城の厳が長は、よろし を大き風城の厳が長は、よろし **大連市に於ける内田洋行は、孝** 前店主の道案を続き事心業務の登

の上共皆様の御指導さ御援助ない

も引行さてお祝する確定です、

め不断の努力な織けて行く気悟でから異ひ、その細胞腫に報ゆる怪

き日を大阪に負けずにより盛大に

一三十歳以上の老兵を整理して別に 着々吹養の質を示せる滿州國軍 百七十七グラム。

きればならなくなった。

友等は、長い間離婚訴訟にひつ美貌ならぶものなき北平の女優

創業廿五周年を迎へた

内田洋行の

もうのがありませうか、その場合 ・ 光が完全に酸の目から登見されない 影像が必要です。この影像こそ

(D)制限「ランプ」のつける数

態法ですが、これは窓種の用意 透過率の程度 次はBの

おけているの説明に移ります、こちすぐとなの説明に移ります、こ

家庭人の義務院室瀬督

出て変りし

燈火管制。

部·工兵少佐旅順要塞司令

件野英二氏談

方も同じであるが照射面積が普通 のものより廣いのであるから脚に でも同じであるが照射面積が普通 のものより廣いのであるから脚に

黒色布の厚さは普通型になってする

る遮骸法ですが特殊数さいへばシさです。次は特殊型のものに野す

(牛乳屋にあり)八合、値段はないでせうか?原料は 脱脂乳がいてせうか?原料は 脱脂乳がいるのでは 大いでせっかるのでは 水いでせった。 夏期の家庭經濟は先七錢五厘、夏期の家庭經濟は先

たら強烈な光線に對して

て經濟能な家庭製法を御継代しな前提から、二、三のものにつ のは最か一合以内に制限するさ

凉味を第一の

夏のお召物

お着附け心得帳

ルヒス

圓の物が十七錢で出來る

經濟的な家庭製法

同點で終った仕合をタイ・

の権の先きにぼろを結べつけたも便器の汚れば、硫酸か、硫酸を特

ダイヴィング(水

曲跳のことで一米乃至

飲みもの

美味」

でフロント・ロー(第一列) 何なる方法によってもよい を三人以下で組めば他は如 のハイ・ダイヴングさの献三米のダイヴイングさ十米 スクラ

前歯が出てる

関がひごろ

7下目に締めます。 禁は特別に腕の張つた方 限りかる際にして、中間も 中學生) やしくてにまらないのです。 からゴリラ、ゴリラと云はれて、 がひごく出ばつてゐるので友達 若い内なら治る

京しくむし居はつたいのは避けすが方なら中の方なら弱撃、魔珠など おは中年の方なら弱撃、魔珠など がは中年の方なら弱撃、魔珠など 兄やす枝氏談) 兄やす枝氏談) ば前窗の一、二本だけが出ばつ たら割合にたやすく治 襲骨から出てゐるやうなのは十

学校だより(九日 州初等教育研究會總會一

やでも死亡してしまふのですから、戦さへ上つて来なければ油をはい

って付けです。平たい、まん丸い もあって、水盆などに盛るには打 こんよくさがせば、機場に負けなりますが、足ケ浦のいそづたひたれたものが、むかしから有名であ 朝鮮では慶南機張の沿岸で取 もあれば真つ的いの

を拾つてゐるう

かはつてゐることは四月から十 沙干狩の獲物の ものは一軒もないだから、日本の料

香帯のひざいのはかつかのか

でいてジャブしっさ寄せて し、オゾーンの多い沙風を な波男波が な、色の付いて こさはありません ひるものを自皮子 なせん。夏休みも終りに近づいて、ません。夏休みも終りに近づいて、おは近

京築地本順寺別院に於て施行 南王龍で十月午後零時半から東 放中村憲吉氏法宴・ブララギ發行 デレヴィジョン いふのに整されたときにさいたがゆいものです。

Ξ

星

各

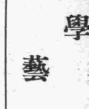
種

三星パレツト、

水筒、筆洗、畵筆

居は「堺市東湊町二丁目一六一西冬衛氏 先般熊連したが新 満日俳壇課題

瀟溯緬羊の將來 新刊紹公



て、反野に補は冬號より一二寸短にはお召號の身幅駿分廣目に仕立たのが記ましいのです。そのため

短目にしかもユッタリ

(四)



微は、わたしの長いパリ生活で見て大檗で歌な唄つて歩くやうな酔

るわけだから時間 一時間草めて 倹約ださか言つ

ひますさ美しくすきさほります。城市野具の曇りは沈緑蛇蛇花灰されて光が

硝子器具の洗ひ方

U

できにぼろを結べつけたも、供の遊戲場には日本の公園にあるてて繰ります。酸は麒麟で やうな近り塞みたいなものはないでから、取扱ひに充分注意 一般に襲行能なものは少いやうで てから、取扱いに充分注意 かる。土に親む、自然に親ませる りっぱりの道具を資つてゐる。参方に すなるこシャベルをぶらさげた子供 になるこシャベルをぶらさげた子供 になるこシャベルをぶらさげた子供 になるこシャベルをぶらさげた子供 になることである。 ては寂しい、シャ になるささつさる 座さばたい

たこさも無ければ、聞いたこさ漢は、わたしの長いパリ生活で

する。公園の中こまでのなどが松もあるので一寸日本的の感じが松もあるので一寸日本的の感じが にゆつくりさ遊ぶ、この公園にはゆつてぬる。日曜など飲物さ食物 持つて行ける、わたらは此のなかれてあつて、勝手に何處へ ド・ブーロンニュミセエヌ河に直 公園は荒原たるものだが は此の公

高級製圖用 製造元 満鮮及關西代理店 東 事 京 務 トンボ鉛筆製作所 用 店 福 井 商 【各地文具店にあり】 高級色鉛筆 店



皮 生殖器障碍 汉 尿 器病 胜

湿内歯科 西広場中央舘:

SCOTCHWHISKY TAKU & CO

豊 富 富 徽花造章環花 O一九三電·角場広西里汪近連大

にうつるまでのお召物さしては鑑いた 悪さ白、赤さ白さいつたカッキリ のでしたら引きり は六月中は長い補でもよいが盛れた。 をさしては残論うすものでせう。 地がいゝさ思ひます。感染のもの 地がいゝさ思ひます。感染のもの とさしては残論うすものでせう。 なさしては残論うすものでせう。 なさしては残論うすものでせる。 なさしては残論うすものでせる。 なさいのたかり悪い生まる。

名古屋でせう。今夏は白地全盛で名古屋が単帯、盛夏には船か終の

奥さまの手帳

油虫の騒除法

帯は

富分は

羽二重程

皮の

て、ざれもこれもみんな館が取れふんだんに挟みに挟まれてゐるの

の小元は地級より未盡へさ

幸设 日

用利熟電 で

(湯氣) を完全に取り除くさい

七 課

その具體的燈火管制法

登骸を防ぐ方法は次の四遍りあり燈火管観のために上空に繋じ光の

下に三十から六十センチ動れ下げてすが、それは瞬に示す如くソケィ

ジェリー

下に三十から六十センチ頭とていいます。これがら六十センチ頭とていいは

る程度終り照射面積を操小する程度終り照射面積を操小す

光を外に連れない様にする方法のB)運搬「ランプ」を直接不透の上ので覆ふ方法、C)壁徹明なもので覆ふ方法、C)壁徹

詩の女・夢の女 容姿、整信はここにも詩情を遇ら

務容詢に「職 が所謂品位の點から軽信が好ん 第一に置かるべきものと思ひます 本層に無確又は代確ご概する 鈴木春信の/錦繪/ らく客信が好ん ○ 中じますが、この総織は報信以前 ・ ます。一般に版鑑の通稱を総織さ ・ ます。一般に版鑑の通稱を総織さ ・ ます。一般に版鑑の通稱を総織さ ・ ます。一般に版鑑の通稱を総織さ

草寺の屋根を思 か時の一とき

常ぶおせんの

のであります。それまけにであると、というのであります。それまはしいものと思ひます。詩ではのかに女の世界をのぞかしてはの女、響の女、何かペールを通しいまのが軽信がくさころの女性であります。それまけにである

望んで、 共一覧にす

間色を使び萬象をありのまり

店



支軟梅毒 作 病 病

是品金

2

金枝 (日滿論座) 講師植松

〇「補語端座」講師高宮

充電の不完全か 充電の不完全か

ハガキで御

聞込あれ

さ しさしてはこの世に生きる重みがまなくなる外は御座いませね」
「たもな話ちや…………」
「だってはこの世に生きる重みがの。

暗は泥のやうに遊んでゐる。二人は、怪異に屹さなつた。

九。富蔵一木村泥

選祉

新

《其六》

次

船

(152)

H H

日本棋院

本本本

合戰譜

和段 松林茂比古 初段 鈴木 憲章

セン

亨作

春

(局六第)

へほにはる

一を態夢に感じ、それまで植ってはなりました。この音鳥ので明したさうで御座います。

も出すさいふ。世にも不思議な日れば、天地自然いかなるもの、音和な能好き、一片の木の薬があれば、天地自然いかなるもの、音楽があれば、天地自然のかなるもの、音楽があれば、天地自然になる。

新局者の言葉 (黒)先番 動局者の言葉 (黒)先番 00000

ニにノ十六(4分) 一〇たノ 十(2分) 一四れノ十四(3分) 一八れノ十六

(白)四は今度の大手合にこの高」と高くヒラク布陣をこの大手合に したのです したのです いづれかさ言へばこゝでは七より いづれかさ言へばこゝでは七より 二九たノ十五
 二九十二
 二九たノ十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五十五
 二十五
 二十五

人の話、それな優美に、わしの題

に入れさして貫はう」 「奇様数々の人間!何者ちゃ?」 「うは、、、、いま名乗つては樂 しみが薄い。そこにある杯、先づ しみが薄い。そこにある杯、先づ 「でないまる。 「ではない。」

魚郎の、諸で鍛へた繋が、

けだ。別に金をくれさも、命をくちれめ名笛、難ひ返してやつたゞ

へ息切れが

んなによくなつた

Ø

源花節(大連に同じ) フヂオドラマ(大連

も楽をのんだ事

でよって飲んで居る内に、なったなく身體の無分がよくなつって、更に今度は徳田郷 水のでつまけたところ、十日の大きので、更に今度は徳田郷

二十分程聴えてゐ 罗公和歌

電気で後セットに終練し二時間後のA電池(二十八アンベア時)充 に規定通り充電せしも、二十分程 で見き思い金然別の電池を接續せ 不良き思い金然別の電池を接續せ 不良き思い金然別の電池を接續せ 悪いのでせうか、これ送三年間もな成も見當りません、バルブでも に規定通り充電せしも、二十分電配一、五Vまで降りし為翌日 る内に又電壓降下

はないでしようか。別の電池なけれたまかで見ません





を存在している。東京出張所へ代價に途料として 大の下さい。東京出張所へ代價に途料として 大の下さい。東京出張所へ代價に途料として 東京出張所へ代價に途料として

難いことには

う體の弱い

--[1]

身體をあまり薬攻めにし の方 が軽く はしませんか? 全快しました のは、なかくありませんが、個 そして本當に身體の爲めになるも 美味くて感じが 州天龍峡の自然の気候風土の中に

今の名物であります。 谷の名物であります。

方 後をひく程、芳香美味で、

力の基となって、乗もキク様になってもに関力がつき、それが回復

変成の方は、日一日、身體中の生 底からボカイ~活気を催します。

活機能が活機に働く機になり、

五臓六腑にしみわたり、身體の真

朝ターバイづつ

されて、新鮮な血液となり健康な

り、食べものもズン

葡萄酒よりも味がよいが、而もの

先まで活気呼吸になつて、懐疑や 丈夫になったと感ばれつゝありま

次の様な人には 何によりもよい ●貧血冷込みの人

陸軍藥局方收載

新

●根氣薄弱の Ø の

〔適應症〕急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・消渇等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず、淋菌を滅殺し尿を清澄ならしむ、持續服用

藥

ものや坂路の上り下り位

初めの苦痛はどこへ

し、元宗徳卿として能率をお進め健康の方までも、一層頭をよく 今年の冬こそは

言述べて御機の語とい

でと変んで居ります、時も私に會ふ度何におかげさまでと変んで居ります、誠に思ふ きった。おきら一年はだめとあさら が、おしりました。 だったい ではの は できるとりました。 だったい かっかんでは まんの かったい かっかんでは まんがり かんできる ●産前産後婦人 ●老衰息切れの人

> 寫 35

コダツクフヰルム 確 實 で

ると同時に光輝部及暗部のラテイルを織細にチユードが極めて廣く豊かな肉乗りが得られゴダツクフヰルムは常に品質が均等でラテイ んだ柔か味とに永久に忘れることの出來ない以になつた方は其の豐麗な階調美と雅趣に富 描寫する性能を有し一度此のフヰルムを御使 獨特の優れた味を持つて居ます。 各サイズ全部取揃



かりてルチのグレ 用法 至極簡單コップ 四分ノーのグレーアジュースに冷水さ氷さ角砂糖 適宜、レモンの一片を浮 でれば尚結構。 | ウェルチのグレ 松入元 松入元 大連市護速町二丁目八〇 大連市護速町二丁目八〇 のみなしは 頭腦過勞者の必携業! マストントン こうしょうしょうしょうしょうしょうしょう 1プ・ジュース (葡萄汁)酒精を含マズー Welch's Grape Juice

實によい物を見付けた

Film Pack フイルムパツクロールフヰルム

大連市山縣通百八十一番地

ースト

マンコダツク會社

おなら何んでも揃ふる



学校

H

井上香木氏は秋父宮殿下の御先郷『新京特電七日襲』新京神社神職

井上神職の謹話 任を果

日語熱昂まる 殿下御來滿に

【奉天特館七日藝】日滿兩國の握

却て氣遺はる 救援隊の安否

より節低の途に就いた蒙汚駅本奉天特電七日袋】去る三日鎌南 本田參事官無事 一名は途中匪賊の撃

に主した情報によるご匪賊の襲い が訴げに向ったが七日戦奉天撃移 溶指導官の指揮する撃撃隊四十名 整体を受け消息不明さなつたので籐

御思召に感 花の美しさ、歌

自動車の軽快さ、

市民の熟誠な

殿下を拜し

殿下の

「新京特電七日發」、十日秋父宮殿 八十五媼の喜び

光榮に 『季天特電七日藝』 品牌別から鑑賞版のつくのつた本天後新氏版出した様のつくのつた本天後新氏版出 身師首子新事任德聚(三

全うした西田治三氏は新京標本ー この大任を無事に果たすため我側召列車の裏務車掌さして東任を 闘士は交々語る 闘士は交々語る

西田専務車掌らの謹話

新京、哈爾濱、チチハル、承德)

の護し

四大忠靈塔建設

二帆船顛覆 强風のため

乘組員は無事

慰認の論成り即下廣く漸既を乗りついありますが、本社でもこの義學に滿陸のたらしめんため新京、哈爾濱、チチハル、承德の四ケ所に大忠懸潛忠勇なる英靈を慰め且つ其の功績を永遠に記念し滿濛の護り眺順洪人忠靈觀終館では、帝國の生命総職保、滿洲國越認の大衆に範國の鬼さ化した幾多の映画法人忠靈觀終館では、帝國の生命総職保、滿洲國越認の大衆に範國の鬼さ化した幾多の

讀者各位の熟誠なる賛助な御殿いしますてこれを後援する事でなり、膝部所金な左の配

該衛附金を左の要項によって取扱いこ

要要警院にて加線中の同君へ届 送つて来たので本社に直にこれを 送って来たので本社に直にこれを

連に向ふ途中第十二工材がは五日

さくらクローム フキルム

各地寫眞材料店ニテ販賣

工材为(三六朝) 李朝夷(二四朝) が上げる。 (三六朝) 李朝夷(二四朝) が

北支非戦地區 監衣社の密偵

木社関係収扱分は紙上に發表 木 社事業部、各支 社支局

任す

いては特に日本語の研究熱町盛 餘ケ所の日本語學校の生徒は 2 てゐる熱心な評年 「新京特電七日韓」かつて東漁道 一帯を膨緩地さして満洲國成立以 一帯を膨緩地立して満洲國成立以 一件を膨緩で満城市に狂気した抗日 を原戦計会散級元は六月一日北平 に於て表捐金齢取続。 巻書館の厳セ

に淨められ

感激

に更ける夜

(可認物便郵種三第)

南年要生は粉水清州國において活 市年要生は粉水清州國において活 では日本語の研究が必要な るこさな痛感してゐる、これは日 これは日 である、これは日 である。 銅像を中心

果鄉公園造設

計畫を旋らす

のあたりに飛して日本文化に深いまって緑々繁固を極めた満洲國の大会な繁固を極めた満洲國の

奉天に潜伏中

示特電六日盛』東郷元帥の遺

うにすること、観像な中心に小公 ではい元前にちなんだ各種の記 では、こと、観像な中心に小公

英國のドレーヤー大將、米國の英國のドレーヤー大將、佛蘭西のリシャアツバム大將、佛蘭西のリシャアツバム大將、佛蘭西のリシャ

念物を飾るさ云ふっ

東京がいゝだら

故元帥墓所祭

北満の河川氾濫

先取の得點を撃ぐ、これに一般がより強引に攻めたて五分

島取縣の大火

卸

を整備・大村洋行 を表示が表明十六電五三〇六 を表示が表明十六電五三〇六 を表示が表明十六電五三〇六 を表示が表明十六電五三〇六 を表示が表明十六電五三〇六 を表示が表明十六電五三〇六 を表示が表明十六電五三〇六

② 松本紙店

壁天井紙

匪首捕はる

高粱繁茂期を待つ中 表社の對痛就策に滿州國内に潜入 達した情報を綜合するに、最近監 テロ行為計畫で同時に衝次國外に 関い歴』 100 km では、 一世では、 一世では、 100 km では、 100 軍部内でも海軍が主さなり実現な、味情が発強して居る、また當の海 これ等の意見其中、

本るのは別さして其中心さなるべた。 を記、響画一致のものにしたい考 をれ、響画一致のものにしたい考 でない、響画一致のものにしたい考 では、響画一致のものにしたい考 では、響画一致のものにしたい考 では、響画一致のものにもか出 居る、これにつき権軍を属さしておらうさいふ議が各方面に起って 國葬參列五國

ち過級來入滿を能て、天津に徐機・ だいであるもの、如くである、師

中の不選続人三名はほ

覧會でも假り、その問題な話るや 一覧会でも假り、その問題な話るや 一覧会でも低り、その問題な話るや 意のは統一されたものにしたい 大将主催で六日午後一時より盛大大将主催で六日午後一時より盛大大網代表の勢を纏ふため終性委員を握須賀鏡子所司令長官水野修身とという。大将主催で六日午後一時より盛大大将主催で六日子後一時より盛大大将主催で六日子後一時より盛大

な午餐の宴た横濱

代表を招待

哀れな凱旋兵の 家に集る同情

滿日婦人團の慰問ご

奉天から匿名の寄附

通点では、 ・ は、 は、 ・ は、 、 は、 錢家店附近一面の海

満洲人本位の家料金低帳快適神

サル 希野の中心 和華洋各武 料理供機 料理供機

は出土温泉で車場が近より養火し ・ 大は窓ち全町に延焼し自放きの場 ・ 下窓んに延焼中であるが電信電話 ・ 下窓んに延焼中であるが電信電話 ・ 下窓んに延焼中であるが電信電話 我克は襲はる

どんな

艶をつくるお肌にも

奪いづれへか逃走した

仁丹石鹸

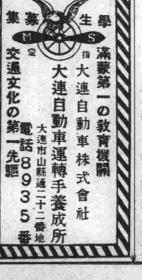
基金(新社)

三十圓 大連商品取引信託株 寄附者芳名(六月七日) 10 大連西通池田小兒科 小崗子質屋組合田村 京太陽木テル新京ダイャ街永樂町一丁目角 化 粧 品屋 擴張電話四九七九番室內電話設備完全

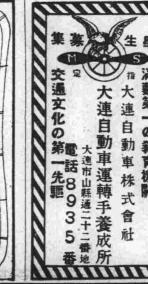
小泉專治

小泉事治商店

梶田小兒科醫院 越後町若狹町角(電六五〇七)









待望の爭覇戦

實滿

戰

前

記

[上]

您よあすから開始

して明順なる顕脈が一致一般と 楽るべき戦にそなへた、係腕歩 楽るべき戦にそなへた、係腕歩 がし五日上旬港線遠征なくはど がし五日上旬港線遠征なくはど の凡打主義の併 の可妙なる打者 を出来るか何う が出來るか何う が出來るか何う

言ふ「四分六の戦ひて紫彩勝ち」 本語ならの得るか、野衆ファンは か

一評、喧々囂々さして戦機上

秩一然 富、殿、下一侧施, 龍一、汉使官邸了

はなものがある、玉井なきあさの の選問は野際にさつての離別である。 本情、井上な裏門の遊聴にさつての離別である。 をさしても他の三内野で説に出した 大様天である、事情の許さればいまれいである。 大様天である、事情の許す職りを 大様天である、事情の許す職りを 大様天である、事情の許す職りを 大様天である、事情の許す職りを 大様天である、事情の許す職りを ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないってもあっては一まり、 ないっては一まり、 ないっては一まり、 ないってものである。

山岸の好調

可愛いわが見の夢も見る命様げて出て来ちや居れざ

カンカン帽子

0

あさは難むさ笑って死んだ

度の質素感は昨年度

記さしや悪河へ是が非でしばけ滿洲鸚路は千里

ヨイトコチョンデ

である、右髪の吉田は昨年度に比してある、右髪の音四は昨年度に比して、下調の態であるがこれまた。 では、一様の暗絵を添へる

はより以上の自然的ゲームさなるであらうご期待されて居る

川の好守さ共に営業攻防の第一線

子は須田千代子の誤に付き訂正 六月七日附簽表複田 計正 六月七日附簽表複田

累計一萬四千八百五十

大連山縣通馬場**耐之** 大連東公園町中矢清七 大連對馬町北島保

大 野原、鈴木先づ無臓 野原、鈴木先づ無臓

の く意外の波瀾を描き思すのである。 にが消俱にこつて最も被攬を要す。 あさころである。 るさころである。 会に世にと二十二の多数接触があるが、 のチームには一種特有の標準に対るが、此 のチームには一種特有の標準に対るが、此 のチームには一種特有の標準に対るが、此 があるが、此 を持れば脱れる獅子の際地のする。 を持れば脱れる獅子の際地のする。 かられば脱れる獅子の際地のする。 かられば脱れる獅子の際地のする。 かられば脱れる獅子の際地のする。 かられば脱れる獅子の際地のが、此

符響はまだかよ日は暮れる

大尉の娘

東京 島島 大会子 ラント

C u

招魂祭参拜注意 來る

者で自動車を使用登山する向は道の大日旅順的玉山搭魂祭賞日の参拝

今度來る時や展望車

一年の一地の一本野神代子

新鮮な流行歌と名作のドラマ化

(以下同)

西松宮清三前小村朝中野

濠洲チームの脅威 が書巻、よく、

奉天に記念塔 大典を記念 教育廳の計畫 とて時の概念の事及に努める等でとなり世下戦計画を作成中である

募集締切期日 教材ご歌詞の

唐聚五收監

ある 親善の質をあげて同二時中形会 赤い映畵

で 育職合食内に診念塔を設置する事 と 於いては海大戦診念のため登城教

續い

ないます。 ないます。 ないはいまでは、 ないには、 ないには

大帝、隆華、工華の滿人諸チーム よは歴史のカアツアした関東州チー 人は関東のコンビの惟はらざるに

るる、寒に山壁のフォームは露近、

襖紙紗織





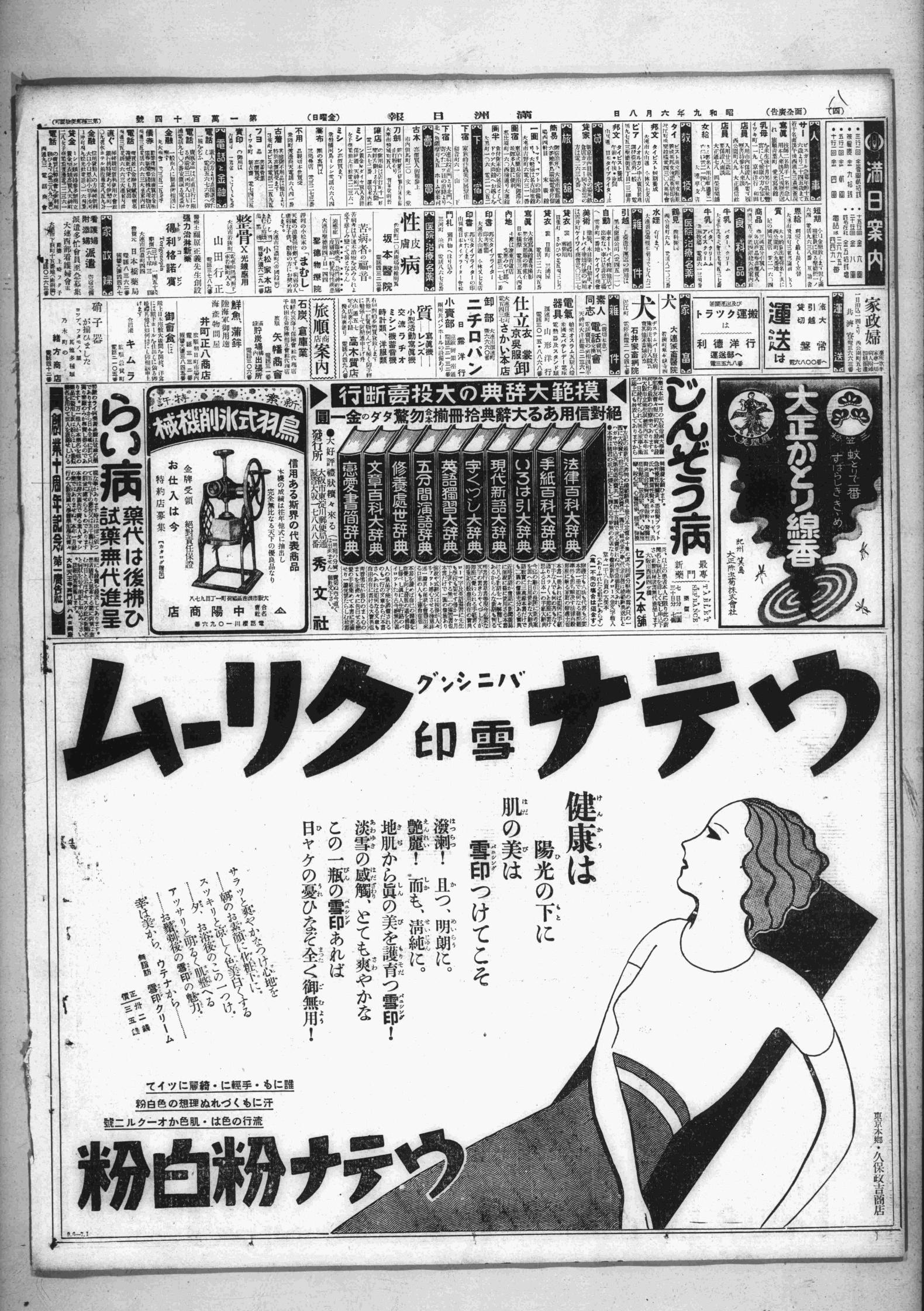
耳がかった。大阪はは

日滿蹴球戰引分け

狂

横内(電話三八三九) 横内(電話三八三九) 大連市伊勢町五二大成號 大連市伊勢町五二大成號 大連市伊勢町五二大成號 大連市西公園町安香所筋向 長崎縣愛野 宇和川出身 後 田 銀 灸 科 療院 長崎縣愛野 宇和川出身 長崎縣愛野 宇和川出身

に取り元月三十一日総切を以て一 ・番地南滿州教育会教科書総職部へ ・番地南滿州教育会教科書総職部へ ・番地南滿州教育会教科書総職部へ ・番地南滿州教育会教科書総職部へ ・選所されたいさ ・選所されたいさ ・選所されたいさ ・選所されたいさ ・選供している。 ・選供して





御親書捧呈の

